

ハワイ日本語新聞『ヒロタイムス』の
デジタル化とハワイ日本語の分析

報告書

一九七六年　おちこちこぼれ種

島田めぐみ（東京学芸大学留学生センター）

高橋久子（東京学芸大学人文社会科学系日本語学研究室）

本田正文（ハワイ大学ヒロ校言語学科）

はじめに

ハワイでは、日系人により独自の日本語が使用されているが、その話者は年々数を減らしている。一九五五年から一九九〇年の間発行された日本語新聞『ヒロタイムス』は、ハワイの日本語を知る貴重な資料である。しかし、現存する『ヒロタイムス』は、デジタル化されておらず、また、当時使用されていたハワイの日本語については、十分な研究がなされていない。そこで、『ヒロタイムス』のデジタル化を試みることにした。

今回、研究の対象とするのは、一九七六年一年間に発行された『ヒロタイムス』のコラム「おちこちこぼれ種」である。一九七六年のヒロタイムスは毎週金曜日に発刊される週刊新聞であった。「おちこちこぼれ種」は、日系一世である記者の目から見た一週間の出来事が口語体に近い文体で綴られており、当時の日本語使用の実態を探る手がかりとなる。本研究では、一九七六年の「おちこちこぼれ種」をデジタル化し、さらに、言語学のおよび移民史的な分析を行い、解説として付した。なお、『ヒロタイムス』の原本は、劣化が進み、部分的に解説が難しい部分もある。解説が難しい部分は「●」とした。

本研究は、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）平成二十三年度広域科学教科教育学研究経費を受け、行われたものである。

二〇一二年三月十二日

一九七六年一月九日（金）（昭和五十一年）

- ◆一九七六年 昭和五十一年「タツ年」を迎えられた読者各位に新春のよろこびを申し上げます（こぼれ種）
- ◆ジンゴル・ベルからサイレント・ナイトの連日連夜の放送、引きつづき「年の初めのためしとて」の元旦の歌：二年越しのクリスマスとお正月番組のラジオ、テレビ放送から、ヤット解放されたハワイの日系人家庭です（これからは建国二〇〇年のヤンキー・ドウ・ドウでござろう）
- ◆昔、旅人を襲つたのはカゴ屋の雲助に山賊（さんぞく）それから海賊だつたが、今は飛行機ノットリのハイジャク（タタキ斬つてやりたい）
- ◆ハワイ島日系人協会の新年宴会と役員就任式は二月一日夜、料亭水月で盛大に挙行するが、会費は五弗（テケツは本社でも、売つています）
- ◆ハワイタイムスは待望の八頁新聞となり、記事も豊富になり、平井編集長（主幹兼任）が、頑張り出した（昇り竜のイレズミをしたような一匹狼）
- ◆ハワイ報知編集局長に森田利秋次長が昇格した（藤川猛前編集部長は主幹に……）
- ◆何か新しい芽が出る年にしたい…と、三木首相が年頭のあいさつに述べている（柳さえも美しい新緑（みどり）の新芽を出す春です）
- ◆元旦の翌日からヒロは雨：「春雨じや、濡（ぬ）れて行う」…等と、シヤレて歩こうものなら、ギヤランテー風邪をひく…冷たい雨でござんす（桃の花も、モクセイの花も散りにけり）

ジンゴル・ベルからサイレント・ナイト クリスマスソング「ジングルベル（Jingle Bells）」と「聖夜（Silent Night）」を指す。

年の初めのためしとて 文部省唱歌「一月一日」の冒頭。明治二十六年（一八九三）年、文部省発表の「小学校祝日大祭日歌詞並楽譜」の中に収められている。

ヤンキー・ドウ・ドウ “Yankee Doodle”（ヤンキードゥードゥル）のこと。
独立戦争の愛国歌。

カゴ屋の雲助 駕籠屋は、江戸時代、通行人を客として運ぶ職業だが、山

の中に連れ込んで金品を奪う者がいた。そういったものを「雲助（くもすけ）」と呼んだ。

新年宴会 『大言海』（一九三二年）では「新年会」ではなく「新年宴会」が見出し語となっている。「新年宴会」のほうが古い形であることがわかる。ハワイでは、二〇十二年現在も、「新年会」より「新年宴会」のほうが優勢であり、一世が百年以上前にハワイに持ち込んだ語が今も生きていると言える。「新年宴会」とは、もともと宮中で行われていた新年の宴会のことで、戦前は、一月五日に実施され、祝日の一つであった。

テケツ 英語からの借用語 (ticket)。

イレズミ 「イレズミ」は「刺青」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

春雨じゃ、濡れて行こう 行友李風（ゆきともりふう）作の戯曲『月形半平太（つきがたはんぺいた）』は、大正八（一九一九）年、新国劇により初演されたが、その中で、主人公が舞妓に傘を差し掛けられた時の台詞「春雨じゃ、濡れて行こう」は人口に膾炙し、小雨の中を傘をささずに歩く際に気取って口にする言葉となった。

シヤレテ 「シヤレ」は、和語の「ざれ（戯）」または「され（晒・曝）」が拗音化して「しゃれ」と化したもので、「洒落」の漢字を当てるのが普通である。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ギヤランテー風邪をひく ギヤランテー (guarantee) が「あることが間違いないと保証する」という意味から、「本当に、間違いない」という意味で使用される。ここでは、「間違いないく風邪をひく」の意。

一九七六年一月十六日（金）（昭和五十一年）

◆十二月は晴れの日が続いたが、一月に入つて……雨の日が続くヒロ（山頂は雪でござんす）

◆土井副知事飛来、犯罪組織団（クライム・シンジケート）のホノルルに於けるバツコ振りを語り、ハワイ島にも警告を与えた（殺し、おどし、闇の犯罪）

◆パイウイロの菅原常松氏は九十二才だが、ナカナカ元気でマンデー来社、移民資料館はハワイ島独特のものに育てて欲しいと激励したり、昔話しをして帰つた（新潟県北蒲原郡乙村高野の出身）

◆二十七日から成人学校の再開で、世話役の平野邑夫氏は、またく忙がしくなる（よく世話するJM平野さん）

◆呉服店を経営していた伊予政一さんは引退生活を送っているが、健康法に毎朝、ククアウ街の自宅から椰子島あたりまで、テクく歩いて行つては帰る、歩けくを実行している（雨の日も風の日も……）

◆風邪を引いたら、あつたかくして寝る、医者のカスリよりも効く……と、昔から言われているが、記者もサンデーに、ノドが痛く、胸も、腰も痛み、クシヤミも出るので、カゼ薬をのんで、電気ザブトンで寝たら、翌日には全快した（軽いうちに用心く）

◆ホノルルではカラボシ・メンが、カラボシ内でストライキ（ストライキ続くよ地の果てまでも…）

◆スタンプ買う、郵便局の人のライン、相変らず長い列（何んとか、ならぬものか）

◆十一日サンデーに短かかったが強震、本島全土を動かし（噴くか火山）

◆猫奴、またもシーズン、毎夜赤児の泣き声の如きニヤーゴーをつづけて恋のささやき（やかましくて寝られず）

◆大相撲東京所初まり、キク・テレビは好人気（午後五時半と十時を熱心に視聴）

◆日本からの観光客…も本島に飛来、十二月の末より正月にかけて、ジャツキ観光バスは毎日、十四―五台が火山に向けて走っていた（ガイドさんを非常召集）

山頂 ハワイ最高峰のマウナケア (Mauna Kea) の山頂のこと。

パッコ振り 「パッコ」は「跋扈」と表記される漢語。「跋扈振り」は、望ましくないものが、勢力をひろげ、思いのままに振る舞う様子。

ピアウイロ ハワイ島東岸、ヒロの北西に位置する町 (Pa'ailio)。

マンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

成人学校 英語 'adult school' の訳。仕事をして行く上で必要な知識を学ぶところ。

伊予政一 マノ街 (Mano Street) で呉服店を経営していた。

ククアウ街 ヒロダウンタウンの "Kukua Street" を指す。椰子島まで歩いて一時間程度か。street 'road' avenue など通りの名称は、「〰街」と

日本語に訳すのが一般的である。

椰子島 ヒロにある Coconut Island の訳。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

電気ザブトン 電気毛布のことと思われる。

カラボシ・メン 「カラボシ」は英語からの借用語 (caraboose 【刑務所】)。

「カラボシ・メン」は受刑者を意味する。

カラボシ 英語からの借用語 (caraboose 【刑務所】)。

スタンプ 英語からの借用語 (stamp)。切手を指す。十六日(金)「ヒロ

タイムス」の記事によると、郵便切手が値上げするということ、ヒ

ロ郵便局には、切手を購入するため多くの人が並んでいるという。

ライン 英語からの借用語 (line 【列】)。直後に「長い列」と日本語でも

書かれている。

強震 十六日(金)「ヒロタイムス」記事によると、一月十一日(日)午

後二時六分に、震度四・一の地震が観測された。震源地はキラウエア火

山の地下十八里の地点。

猫奴 「ねこめ」。接尾辞「め」は、方言では、鳥獣名に付けることが多い。「め

を「奴」と表記した例は、『二葉亭四迷の『浮雲』にある。『和英語林

集成 第三版』に「ATSU アイツ 彼奴 (cont.of ano yathu) That

fellow.」 「KOITSU コイツ 這奴 This fellow ; this one ; this thing.

Syn KOYATSU」コヤツ「あやう」アヤウ「あやう(彼奴)」↓「あやう」

「あやう(此奴)」↓「こやう」と変化したものであり、これらの語が、

「あいつめ」「こいつめ」という熟語で使用されることが多いので、「め」を「奴」と表記する習慣が生じたか。

好人気 「好(こう)」は、接頭辞として、比較的自由に、種々の語に冠せられる。後の例ではあるが、二〇一一年十二月十六日、日本のウェブ上の経済ニュースに、株式市場用語として、「好人気」が使用されている。

これは「高人気」とも表記され、併用される。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

ジャッキ観光バス ヒロの観光バス会社 Jack Tours の観光バスを指す。

火山 キラウエア火山 (Kilauea) を指す。現在も活火山。

一九七六年一月二十三日（金）（昭和五十一年）

◆中央太平洋銀行の総資産は二億四千万弗で昨年度も収益好調で、飛躍を続けているが、石井頭取は全島の顧客各位に感謝している（銀行の神さまのような石井頭取の頭脳が好調の源泉だ）フオン国会の上院議員は正式に引退を声明した（元はパラマ・ボーイだったが、今は金も地位も最高の政界、財界の大御所）

◆組織犯罪を大きく警告した土井副知事の発言に、検察官や警察がフーくくしているが、一般大衆は土井ポロレイと拍手を送っている（頼りにもなり頼りにもならぬ警察）

◆元ホノルル税関長アーネット村井勲氏が勲三等旭日賞を授与されたが、村井さんは歯科医で、日系先輩として公私に尽した人（戦時中は土気昇揚委員会の幹部として身体を張った二世）

◆ホノルルは性的暴行、刺殺、射殺（殺）、強奪、恐迫、それに放火 などと、ギヤング都市の様相が続いている（カラボシでは四人のストライキ）

◆新聞や、ラジオ、TVの広告は効果が強い「アップル・チップは本当のリンゴ」のテレビ広告でアップル・チップを試食する子供も大人もヒロに多い（文句だらくの広告よりも短かい歌の文句のみりよく）

◆ハオレ婦人に寒いネーという「イエス・チルド」と答えるが、吾々の先輩はチルドよりもコールドだ（ヒロの朝は六十度の寒冷、山は大雪）

◆ヒロ・グリの浦崎太郎サンは沖縄出身の琉王が十両カンラク、幕内取組に出ないので、新潟出身の豊山と黒姫山を応援してくれている（アイカネとは有難きものかな）

◆あなたのヤードに「紅梅」がありますか、なかつたら送りますよと火山の読者から電話があつた（吾れ人を愛し花を愛す……）

◆ハワイ州議会が二十一日朝開会されたが、ヒロからも多数の縁故者が出府して列席した（議政壇上の獅子吼）

◆県人会も各団体も新役員が就任、いずれも「辰年」の抱負をのべている（昇る龍）

◆小林旅行案内社ヒロ支店には日英両語のよくわかる社員が居り、訪日の手続きや飛行機の世話も親切に、スピードサービス（支店長はハリ小

田氏)

◆ハワイ島日系人協会新年宴会のテケツは、本社でも取り次いでおります
(会場は水月、値段は五弗)

フー／＼ ハワイ語からの借用語 (huhu【怒る】)。

ポロレイ ハワイ語からの借用語。(pololei【正し】)。

カラボシ 英語からの借用語。(caraboose【刑務所】)。

ハオレ ハワイ語からの借用語 (haole【白人】)。

チルド 英語からの借用語 (chilled【冷えた】)。

コールド 英語からの借用語 (cold【寒】)。

六十度 華氏六十度のこと。摂氏で表すと十五・六度。

山 ハワイ最高峰のマウナケア (Mauna Kea) を指していると考えられる。

カンラク 「カンラク」は「陥落」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

アイカネ ハワイ語からの借用語 (aikane【友人】)。

ヤード 英語からの借用語 (yard【庭】)。

火山 キラウエア火山 (Kilauea) を指す。現在も活火山。

出府 「出府」は、「地方から都府にでる」という意味で、『日本国語大辞典』では、一七七〇年の用例が記載されており、特に「江戸に行く」ことを指していた。ハワイでは、「ホノルルに行く」という意味で使用されている。

獅子吼 本来仏教語である。獅子王が咆吼すれば百獣がおそれ従うように、仏が説法すれば、一切が承伏するところから、仏の大説法を言う。転じて、熱弁をふるって真理・正義を説く、大演説の意味で用いられる。

新年宴会 『大言海』(一九三二年)では「新年会」ではなく「新年宴会」が見出し語となっている。「新年宴会」のほうが古い形であることがわかる。ハワイでは、二〇十二年現在も、「新年会」より「新年宴会」のほうが優勢であり、一世が百年以上前にハワイに持ち込んだ語が今も生きていると言える。「新年宴会」とは、もともと宮中で行われていた

新年の宴会のことで、戦前は、一月五日に実施され、祝日の一つであった。

テケツ 英語からの借用語 (Ticket【切手】)。

一九七六年一月三十日(金)

◆桜花開く…ではなく、ハワイ州議会がレーに埋れて華やかに開幕した
(踊りや音楽でお祭り気分……)

◆ハワイ島日系人協会の新年宴会(二月一日サンデー)には教会側の熱望により長谷川総領事は夫人同伴で飛来する(ヒロ側も出来るだけ夫人同伴)

◆初めは長谷川総領事が単身で飛来出席することになっていたが…ヒロ側は不服「ホノルルの連協には十四人が出席したのに…ハワイ島にはクック一人…不公平です」「ホノルル尊他島卑」は頂けないと詰めよつたので、長谷川総領事は大声をあげて笑っていた(お互に冗談をいう仲、言える仲)

◆過労で、身がつかれますので、新年宴会や候補者の激励パーティーには時々欠席させていただきます。御諒承下さい(本社 大久保生)

◆ホノルルのワイキキと空港には日本からの観光客があふれている…という形容詞が口から出る(多いですよ、右を向いても左を向いても…)

◆東京場所…新潟出身の豊山も羽黒山も角力が正直すぎて惜敗つづき、遂に負け越した(大錦は十両でモタついている)

◆不況脱出の年…とか、党員に望みたいのは、一にも、二にも団結だ!と三木総裁が自民党大会であいさつ…(ことしは総選挙年)

◆嶺の白雪ノーエ…の唄が出る…ほどマウナケア、マウナロア両高山は雪に覆われている(溶けて流れて地下を通つてヒロ湾にそそぐ)

レーー ハワイ語からの借用語(lei)。草花で作った首や頭にかけるもの。

新年宴会 『大言海』(一九三二年)では「新年会」ではなく「新年宴会」が見出し語となっている。「新年宴会」のほうが古い形であることがわかる。ハワイでは、二〇十二年現在も、「新年会」より「新年宴会」のほうが優勢であり、一世が百年以上前にハワイに持ち込んだ語が今も生きていけると言える。「新年宴会」とは、もともと宮中で行われていた新年の宴会のことで、戦前は、一月五日に実施され、祝日の一つであ

った。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

く尊く卑 「男尊女卑」(出典は、『列子』天瑞篇の隱者榮啓期の語)の語構成から類推して作られた表現であろう。他に「官尊民卑」(1976:220の記事に出る)等がある。

パーティー 英語からの借用語 (party)。

角力 「すもう」と読む。「角力」は、古代中国において、力くらべをして、勝負を争うことで、『礼記』月令篇に見える。

嶺の白雪ノーエ 作詞者・作曲者ともに不明の「ノーエ節」、別名「三島農兵節」の冒頭であろうが、異同がある。「富士の白雪やノーエ、富士の白雪やノーエ、富士のサイサイ、白雪や朝日でとける、とけて流れてノーエ、とけて流れてノーエ、とけてサイサイ、流れて三島にそそぐ」が普通の歌詞である。

両高山 マウナケア (Mauna Kea) とマウナロア (Mauna Loa) を指す。

溶けて流れて 前注参照。

ヒロ湾 “Hilo Bay”を指す。

一九七六年二月六日（金）

◆あまやかし…すぎて、のさばらしすぎた日本の対共産党観に、春日民主党委員長が、スパイ査問事件を提出したが、社会党よりも、自民党よりも民社党は勇気がある（アカ旗はウソ旗の共産党）

◆カホオラベ島の爆撃反対運動は熾烈（シキレット）…軍部は続けたいが、市民は反対だ（ハワイの徴兵制も十月でパウになるのだから、物言わぬ島、カホオラベ島に爆弾を叩きこむのもパウ・オーライ…）

◆ホノルル市内六病院の看護婦約八〇〇名がストライキ…病人を放つたらかした増給天使（ナイチンゲールは天国で涙…）

◆カゼひき、日本だけではなく、ヒロにも多く…病人は「この風邪は、ナカクなおりにくい…」とゴホン／＼やつている（学生々徒も多数が罹病）

◆今年は選挙年で、候補者パーティーが多いが、記者は、どの候補者パーティーの招待にも多忙なので欠席ときめている（公平な新聞人としてペンをとりたいたから、タダ酒、タダ・カウ／＼は真平ご免）

◆移民資料館へ、貴重な資料が、続々と集まるが、野球ジャイアント（巨人軍）のマネジャー佐伯文雄氏夫妻も来館して、貴重な品々が揃っていますナアと驚いていた（コナ生れの二世）

◆ハワイ島日系人協会の会長に上村雅一氏が選ばれたが、就任式の新年宴会にはミセス同伴で出席した（内助の功厚い山内一豊の妻）

◆コナ日系協会の木村寿氏初め幹部数名がヒロの日系協会の新年宴会に出席今後もヒロとコナの提携（ていけい）を希望していた（昔は車で六時間半…今は僅か二時間のヒロとコナの道のり）

◆地震…ヒンパンに襲う…グラ／＼と来たり、ゴツンと来たりの気持ち悪さ（嘔くなら早う嘔け）

カホオラベ島 マウイ島南西に浮かぶ小さい島“Kaho'olawe”のこと。米軍の爆撃演習場だった。現在の日本では、「カホオラヴェ」と記すことが多い。

熾烈（シキレツ） 正しくは「しれつ」。

パウ ハワイ語からの借用語 (pau 【終わり】)。

タダ 「タダ」は、通常「口」と表記される。明治時代には、公園などにある、無料ですわれるベンチを「ロハ台」と言った。「口」を解字して「ロハ」としたものである。ここは、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

タダ・カウク 日本語「ただ」とピジン英語「カウカウ (kaukau)」の混種語。「カウカウ (kaukau)」は、食事を意味する。「カウカウ」をハワイ語だと認識している者も多いが、語源は中国人が使用していたピジン英語の「chow chow」となっている (Sakoda & Siegel 2003:5 ほか)。
真平ご免 「まっぴらごめん (真平御免)」の原義は、平身低頭して許しを乞うさまである。転じて、ひたすら拒絶したい気持ちの強いさま。絶対いやだ。

コナ Kona。地名。ハワイ島の西側海岸の地域を指す。

新年宴会 「新年宴会」は現在は「新年会」と言うのが一般的であるが、昭和7年の『大言海』では「新年宴会」が見出し語となっており、もともとは「新年宴会」だったことがわかる。

ミセス 「妻」を意味する。

ヒンパン 「ヒンパン」は「頻繁」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

早う ハワイには、広島県や山口県出身者が多いため、「早く」のウ音便「早う」が使用される。

一九七六年二月十三日(金)

◆移民：一〇八年、二世でヒロ・ハウスロツト在住の柳原メーブルつね夫人が八十七才で亡くなつた(加哇島ケカハ生れで、孫十一名、曾孫四名がある)

◆ヤケに吹く強風、椰子の葉は苦しそうに揺れており、木の葉や枯れ枝はヤードに四散しているヒロ(きた風寒く海あれる)

◆福は内(うち)、鬼は外(そと)の節分も終り、こんどは三月三日のおヒナ様：ギールス・デーである(月日のたつのは、早うガンス)

◆ハワイ島日系人協会の新年宴会の余興には幹部が出演、長谷川ベトナム大使や、ジョン牛島上院議長や、昭和の遠山金さんこと桜吹雪いれずみ判官の木村春一氏(巡回裁判所判事で前市長)で：いずれも上手に唄つた(細川たかし：が新人賞をもらつた歌でした)

◆ハワイ島日系人協会二代目会長はハナヒゲ アゴヒゲのある二世・上村雅一氏が選ばれた(元日商工会頭、前ヒロ本願寺学園主事)

◆郡施設内での禁煙条例がホノルル市会もカワイ郡会も承認したが、ハワイ島は研附中(十人居たら一人は中座したらヨカンベエ……)

◆シテー銀行のジエームス森田正美会長がユダヤ人病院から表彰されたが、同氏はユダヤ系ではなく亡父は高知県で、コナの日本語学校長、それから布哇アン・コーヒー・ミルの総支配人だつた森田丑馬氏で、コナの重鎮だつた(純粹の日系二世、弁護士であり実業家ですと読者の質問に私は答えた……)

◆ダンくよくなる…のは法華の太鼓と藤井画夢夫妻発行の「コギク」
…二月号もヒロでは非常に評判で大人気、三世女性たちが競つて買いついて行つている(椎木薬店にも、コミック・センターにも)

加哇島 カウアイ島(Kauai)。ハワイ諸島最北端の島。日本では「カウアイ」と記すことが多いが、ハワイでは「カワイ」と書かれ、「カワイ」に近い音で発音される。そのため、漢字では「加哇」と表記する。ハワイは「布哇」と表記される。

ヤケ 「ヤケ」は、動詞「焼ける」の連用形の名詞化したものから転じたもの。形容動詞としての用法から、副詞としての用法が生じた。「ヤケに」は、むやみに、ひどく、の意。普通は平仮名表記をとるが、平仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。ヤード 英語からの借用語 (yard【庭】)。

おひな様 「おひなさま」は通常「御雛様」と表記される。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ギールス・デー 「ギールス」は「ギョールス」の誤りと考えられる。ほかの記事では、「gini」を「ギョール」と表記しており、実際「ギョール」に近い音で発音される。「ギールス・デー」(ギョールス・デー)は、「ひな祭り」を意味する。

早う ハワイには、広島県や山口県出身者が多かったため、「早く」のウ音便「早う」が使用される。

ガンス 「ございます」の意の補助動詞として用いる。広島県・岡山県などで使用される。

新年宴会 「新年宴会」は現在は「新年会」と言うのが一般的であるが、昭和7年の『大言海』では「新年宴会」が見出し語となっており、もともとは「新年宴会」だったことがわかる。

遠山金さんこと桜吹雪いれずみ判官 江戸末期の南町奉行、遠山景元(通称、金四郎)は、世情に通じ、名奉行とうたわれた。俗説では桜吹雪の刺青が有ったとされる。死後、講談や歌舞伎の題材となった。昭和八(一九三三)年の松竹映画、林長二郎(長谷川一夫)主演「刺青判官」に拠る表現であろう。陣出達郎は『喧嘩奉行』を初めとする十数冊の「遠山の金さん」シリーズを書いている。

郡 ハワイ郡 (Hawaii County) を指す。

カワイ郡 "Kauai County"を指す。カワイは、カウアイ島 (Kauai) を指す。ハワイ諸島最北端の島。日本では「カウアイ」と記すことが多いが、ハワイでは「カワイ」と書かれ、「カワイ」に近い音で発音される。研討 ここでは「検討」の意味で用いられている。中国語では、研究討議の略として「研討」の語がよく用いられ、学会名でも、「○○研討会」のように用いる。それに対し、「検討」は自己批判、反省の意味が強い。

日本語で「検討」を「研討」ということはないので、中国語の影響であらうか。なお、「検討」「研討」はともに唐代より用いられた古い漢語であるが、『哲学字彙』では前者を「test」の訳語に当てている。

コナ Kona。地名。ハワイ島の西側海岸の地域を指す。
布哇アン・コーヒー・ミル 「布哇」は「ハワイ」を指し、「布哇アン」は「ハワイアン」と読む。

薬店 「やくてん」は、薬を売る店。中国の明・清以降の戯曲や小説に「薬店」の語が出る。官立が「薬局」、私立が「薬店」と呼ばれた。

キク・テレビ・フアンの月刊誌



一月號發賣中！ 定価 \$1.50

新番組、人気番組の紹介を中心に、フアンの聲、ヤング・子どものページ、マンガなど一家揃って楽しめるテレビ雑誌です。(日英両語)

お求めは
セイギ・ドラッグ
コミック・センター

直送申込は KOKIKU
P. O. Box 3556
Honolulu, HI 96811

☎

一九七六年二月二十日（金）

◆ロッキード事件の波紋は日本だけでなく、世界各国に次ぎ／＼に広がって来た（アメリカ企業の醜悪Ⅱしゅうあく）

◆昔、昔、日本では海軍のシーメンス事件が起り内閣がつぶれたことがあるが、これは軍艦企業のワイロ事件であった（明治年代の老一世は覚えてる筈）

◆ロッキード社から工作資金が渡されたと…：されている国際興業の小佐野賢治社主は、ホノルルに滞在中であつたが、去週帰国した（戦後の日本企業界の怪物）

◆とう／＼シツポを出しましたネ、「丸紅」という大手商社…：こんなことばが…：ホノルルでもヒロでも話題となつている（まさか、悪徳商人ではあるまいか…）

◆私は昔から、政治商人…：即ち政商は嫌いだつた。今回のロッキード・ワイロ事件は政商の実態バクロだ（政治家と商社、商人がケツタクしてビジネスをする政治商人です）

◆宗教が政治家とケツタクして教勢をのばすことは政宗ということになるう（宗教団体の市長、知事表敬の多いこと）

◆ハワイ州移民資料保存館はビシヨップ博物館に工事中だが、六月ころには盛大な開館式を挙行する予定らしい（時岡政幸委員長談）

◆ナントか言いましたナア…：四ツの文字・そうそ、「官尊民卑」…：とかいうこと…：と、バロン後藤安雄博士が、ニツコリ笑つて…：出府した私に話しかけた（バロンさんも日本語新聞を精読しているらしい）

◆ホノルルへ十二日の朝とんで行つて、夕方、雨のヒロに飛んで帰りました（用件は州移民資料館全島代表者会議に出席）

ロッキード事件 昭和五十一（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐり、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託取賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

シーメンス事件 大正三（一九一四）年一月に発覚した事件。ドイツのミューンヘンにあるシーメンス社が、日本海軍高官に贈賄をした。この事件のため、時の山本内閣が倒れた。

ワイロ 「ワイロ」は「賄賂」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。去週 先週の意。中国・日本での使用例は確認できない。

シツポ 「シツポ」は、「しりを（尻尾）」または「しりほ（尻秀）」の変化した語。普通「尻尾」と表記されるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

バクロ 「バクロ」は「暴露」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ケツタク 「ケツタク」は「結託」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ビジネス ハワイでは、「ビジネス」を「ビズネス」と表すことが多い。教勢 宗教・宗派の勢力、即ち、信徒の数、の意。

官尊民卑 「男尊女卑」（出典は、『列子』天瑞篇の隱者榮啓期の語）の語構成から類推して作られた表現であろう。他に「ホノルル尊他島卑」（1976.1.30の記事に出る）等がある。

出府 ホノルルに行く意。「出府」は、「地方から都府にでる」という意味で、『日本国語大辞典』では、一七七〇年の用例が記載されており、特に「江戸に行く」ことを指していた。ハワイでは、「ホノルルに行く」という意味で使用されている。

一九七六年二月二十七日（金）

◆時間がかかるが真相を…私はすべてを捧げると、三木首相がロッキード問題で決意を表明した（三木首相の面目躍如たり）

◆ロッキード事件の悪役立役者は丸紅と、コーチャン・ロッキード前副社長…らしくなってきた（やつた！もらわね（「ね」は衍字）ネエ…と水かけ論初まる）

◆中央太平洋銀行がホノルル連協へ千二百弗寄附、まことに結構なことで感謝に堪えないが、ハワイ島にも二カ所に中央太平洋銀行の支店が営業、好成績をあげている（両陛下奉迎に五、〇〇〇弗、今回が一、二〇〇弗で島地の日系人会にはゼロ）

◆ハワイ島広島県人会の新役員掲載が遅れましたが重石書記が…「アンタにはリストをやらなかつたかいのう」と忘れていたのが理由です（会長は世話好きの平野邑夫氏）

◆太陽見えたり…雪山も、これが二月二十日のフライデーの快晴でした（ヒロ湾は碧い海）

◆日本はボカく陽気で、南紀州に春が訪れて、初ガツオが水揚げされた（女房を質に入れても食べたい初ガツオ…と昔の人は云いました）

◆最近、大久保姓の花ざかり…で、殺人魔、群馬県の大久保清は死刑、キク・テレビでは天下の御意見番、大久保彦左衛門が現れて、名誉回復したと思つたのも、ツカの間で…こんどはロッキード社問題で新聞を賑わしているのが、丸紅専務の大久保利春氏（自慢になりませんタイ、大久保姓）

◆ホノルルは犬の取締法が実施されているらしいが…ヒロは野放しで、木の芽出る今日びは、又やメス犬一匹に野良オス犬五六匹が、歩道であろうと車道であろうと、他人のヤードであろうと、お構えなしに性行為だ（めいわくだぜ！ 何とかならぬものかと、犬猫愛護会のお歴々に抗議したい）

ロッキード事件 昭和五十一（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐる、

丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託取賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

島地「島地(とうち)」は、ハワイ島本島以外の、島になって散在している地域をさす。

かいのう 広島方言、山口方言で使用される。

フライデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

ヒロ湾 "Hilo Bay"を指す。

女房を質に入れても 江戸時代、初夏のころ、最初に漁獲して市場に出た初鰹を、大金を払ってでも食べるのが、粋な行為であるとして、誇りとする風習があった。俗に「女房を質に入れても初鰹」と言う。

ツカの間 「ツカ」は、指四本の幅である一束(ひとつか)のこと。そこから、「束の間」で、ごく短い時間の喩え。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

タイ 薩摩方言で使用される。大久保利春氏は大久保利通(旧薩摩藩士。明治維新の指導者)の孫。

ヤード 英語からの借用語(yard【庭】)。

お構えなし 「お構いなし」が普通。雲伯(出雲・伯耆)方言では「い」が「え」になる。

一九七六年三月五日（金）

◆アツ…？ ハワイ版ロッキード事件かと、驚かせたのが、ハワイ報知二月二十七日の、円福社長、おんみづから筆をとった勲章云々は濡衣（ぬれぎぬ）、吉上氏怒る…のフル一頁とコアターのインタビュ記事だった（テープ・レコーダーが出たり、神仏が出たり、内容はキレイごと集）
◆ハワイ島は勿論、他島からも両陛下（州）奉迎委員会に対し、不平不満はゴマンとある。いずれ「真相はこれだった」…とヒロ・タイムスが書きたいと思つている（サツサと解散せよ、ホノルルの新聞は遠慮しすぎる）

◆本当のことを書くと、新聞は減りませんか？と笑う人があるが、そうかも知れませんか。然しヒロ・タイムスは、そんなことはヘッチャラだ、後世のためにハッキリ書いて置きたいと思う（鬼が出るか蛇が出るか）
◆東京のタキシード代は世界一の高い料金だという（運転士のブアイソウも世界一であろう）

◆黒いピーナツを食つたらしい東京の丸紅本社に、労組員二、〇〇〇人が抗議デモをかけた（政商がふるえているロッキード事件…）

◆大正のころ、日本の大富豪（政商）が野球バットで殺されたことがあるが…あの当時流行した歌に「アア金の世や、金の世や、地獄の沙汰も金次第…」という文句、今なら歌詞というが（浜の真砂はつきるとも世にドン慾の政商の数はずきまじ）

◆三月はおヒナの節句のギョールス・デーでスタートしたが、この三月の月は、ハワイの新聞人には忙しい月だ（催しごとがあちら、こちらにある）

ロッキード事件 昭和五十一年（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐり、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

フル一頁とコアター 「二ページと四分の一ページ」。「フル」と「コアター」

は借用語 (full quarter)。

ゴマンと「ゴマンと」は、数量が多いさまを表す近世語「まんど」から作られた語か、と言われるが、確かな語源は不明。「五万と」と表記するのは、当て字。

のう 広島方言、山口方言で使用される。

へツチャラ 「平気」の「平」に、冗談の意の「ちゃら」がついた「へいちゃら」が変化して「へっっちゃら」となった。普通、平仮名または片仮名で表記される。

鬼が出るか蛇が出るか 前途にどんな運命が待っているか予測できないことを言う。江戸時代の慣用句「鬼が住むか蛇が住むか」から出た表現で、傀儡師（からくり人形師）の口上で用いられた。

タキシシー タクシー (taxi)。

運転士 日本では、電車・クレーンを運転するのは「運転士」、自動車を運転するのは「運転手」と区別して使うことが多い。

ブアイソウ 「ブアイソウ」は「無愛想」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

黒いピーナツ ロッキード事件で、ロッキード社から賄賂を受け取る際の領収書に百万円を「ピーナツ」という隠語で表したことから、マスコミが「黒いピーナツ」という言い方で盛んに報道した。

浜の真砂はつきるとも 安土桃山時代の盗賊石川五右衛門が、釜煎りの刑に処される前に、辞世の歌として「石川や浜の真砂は尽きるとも世に盗人の数は尽きまじ」と詠んだと伝えられる。安永七年初演の歌舞伎並木五瓶作『楼門五三桐（さんもんごさんのきり）』等、石川五右衛門を題材とした戯曲・小説は多い。

おひな 「おひな」は通常「御雛」と表記される。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ギョールス・デー 「ギョール」は「*gouls*」を表し、実際「ギョール」に近い音で発音される。「ギョールス・デー」は、「ひな祭り」を意味する。

一九七六年三月十二日（金）

- ◆ヒロは雨また雨で、レイン・ボーフォール（虹の滝）も雨量が多く、観光客をよろこばしている（カットを参照ありたし）
 - ◆アメリカ建国二〇〇年：ハワイ島日系人協会も、祝賀のプランを考案中です（日系人の代表団体）
 - ◆テレビの雑誌コギクは、ハワイ島でも大好評で品切れになるほどの好売れ行きです（椎木とコミック・センターで販売中）
 - ◆ハワイ島移民資料館も忙がしく、毎日整理に追われています（英文のホニヤクにも着手）
- レイン・ボーフォール（虹の滝）『Rainbow Falls』のこと。ヒロにある滝で、虹がかかることで有名なため、このように呼ばれる。
- 「ホニヤク」は「翻訳」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

一九七六年三月十九日（金）

◆五十幾日間も降りつづいたヒロの雨、去週末から陽光輝く快晴にもどつてきた（これからヴァンダの花も多く咲く）

◆来訪したNHKの伊藤和明氏は東大時代から氣象庁の地震部長・諏訪彰博士と親友なので、近況を知らせてくれた（諏訪博士はマジメから生まれて来たような学者だとお互いに笑いあつた）

◆ロッキード事件で一躍有名になつたのが、黒いピーナッツ…で、土産は黒いピーナッツにしてくれというほどだ（丸紅だから、紅いピーナッツである筈なのに…）

◆髪の毛の長い西条秀樹が桜祭りのイースト・シヨーに來布、ホノルルの若い層はお祭り騒ぎだ（年配組は静かなること林の如し）

◆長谷川孝昭総領事はベトナム大使として榮転。惜しまれて帰朝した（十日朝、ハワイ島の皆様によるしくと電話で告別のあいさつ）

◆ヒロ・タイムスは両ホノルル新聞に対して中立です。然し、是は是、非は非で行きます。ホトケ様新聞ではありませぬ（六分の俠氣、四分の熱ある…昔氣質かもしれぬが…）

◆天皇・皇后兩陛下のハワイ奉迎記念写真集が発行されたが、マア／＼の出來栄（こころうさま）

◆正月から続いた各団体の新年宴会も…いよく終りとなり夜分はユツタリ出来るが、それもツカの間で、こんどは各候補者のキツク・オフ・ルアウが初まり出した（秋の選挙の前哨戦でござる）

去週 先週、の意。中国・日本での使用例は確認できない。

ヴァンダ ランの一種。「vanda」。日本では「バンダ」と表記することが多い。マジメ「マジメ」は「真面目」と表記される和語であるが、漢字表記より

り片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。ロッキード事件 昭和五十一（一九七六）年二月に発覚した事件。アメ

リカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐり、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕さ

れた。

黒いピーナッツ ロッキード事件で、ロッキード社から賄賂を受け取る際の領収書に百万円を「ピーナツ」という隠語で表したことから、マスコミが「黒いピーナツ」という言い方で盛んに報道した。

来布 ハワイに来る意。

ホトケ 「ホトケ」は、「仏」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

六分の俠気、四分の熱 与謝野鉄幹の明治三十一年作「人を恋ふる歌」の一節。冒頭は「妻をめとらば才たけて みめうるはしく情ある 友をえらばば書を読みて 六分（りくぶ）の俠気四分の熱」。後、作曲（作者不詳）され、三高（現京都大学）寮歌として歌われている。

新年宴会 「新年宴会」は現在は「新年会」と言うのが一般的であるが、昭和7年の『大言海』では「新年宴会」が見出し語となっており、もともとは「新年宴会」だったことがわかる。

ツカの間 「ツカ」は、指四本の幅である一束（ひとつか）のこと。そこから、「束の間」で、ごく短い時間の喩え。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

キック・オフ・ルアウ キックオフ (kick off) は、試合、イベントなどが開始する、火蓋を切るなどの意味。ルアウ (luau) は、宴会を指すハワイ語。

一九七六年四月二日（金）

◆新聞人がホメられようとしたり、金を溜めようとしたりすることは間違
い…正は正、邪は邪で戦うのが**本命**（新聞社をツブす位の意気込で筆
戦することも必要）

◆ハワイ報知 動き出したが本社は受けて起つ…体制を組んでいる（ジヤ
ンと鳴ればカントひびく社会）

◆ハワイ島奉迎委員会は、目下解散準備をすすめているが三新聞に会計報
告を発表するという（山下委員長談）

◆ヒロの雨、もう、こちらあたりで、パウになつて欲しい（六十幾日間の
雨天つづき）

◆コナ高野山大師寺の本堂改築荘厳庫裡新築落慶法要は二十七、二十八の
両日に厳修した（高野山元管長堀田真快師も飛米）

◆青木保氏の叙勲、祝賀会は四月十一日サンデー正後十二時より、ヒロ別
院ホールで開催（主催はハワイ島日系人協会）

本命 ここは、本来の使命、の意。日本での普通の意味は、競馬・競輪で、
一着になると予想される馬・選手、また、複数有る選択肢のうち、最
も有力だと予想されるもの、であり、意味が相違する。

パウ ハワイ語からの借用語（pau【終わり、終わる】）。

コナ ハワイ島西岸の地域「Kona」を指す。

飛米 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

正後 「正午」の誤りと思われる。

落慶法要 「落慶」は「らっけい」または「らくぎょう」と読み、寺社の
新築の落成を祝うこと。それを祝って行う法要を「落慶法要」または「落
慶供養」と言う。

ヒロ別院 ヒロのダウンタウンにある「本派本願寺ヒロ別院」を指す。「本
派本願寺」は「西本願寺」の異称。

一九七六年四月九日（金）

◆四月馬鹿（エーブル・フール）であつても、生きている人を死んだ：と騒がせるのは、常識でなく：非常識、悪趣味（私ならゲンコツくれてやる）

◆上原征生（布大名誉教授）氏の随想集「ハワイの声」が出版された（二〇九頁の内容で非売品）

◆ヒロは花祭り週間で、各寺院とも法要が続いている（花咲き匂う春八日）
◆パイナコの谷口スーパー・マーケット内に郵便局の支局が開設されたが同地方住民から非常に便利がられている（スタンプも売る、小包も受けつける、バンバイは郵函もできる）

◆ロッキード事件の台風の目は右翼の児玉馨志夫氏となつたが、サスガは大物だ。児玉さんは動ぜず「音なしの構え」だという（脱税攻撃にビクともせず）

◆西ハワイ新聞を相手に十一万弗の民事訴訟を起したコナ・カイルア在住のパナガン氏に対して、木村春一判事法廷で却下された（名誉キソンの罪の不成立）

◆秋の総選挙に備えて、候補者の動きが活発。田尻市会議員候補（民）も事務所を開設した（キラウエア街七八四）

◆桃の実は枝もたわわに実のり、春の味覚をそそるヒロの昨今（雨はあがり青空見ゆる候となる）

エーブル・フール “April Fool”のこと。日本では「エプリールフール」と表記する。

ゲンコツ 「ゲンコツ」は「拳骨」と表記される和製漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

布大 ハワイ大学を指す。

花まつり 灌仏会の俗称。釈迦誕生の時、梵天・帝釈が降り、仏の身体に甘露を注いで洗ったという故事に基づくと言われる。四月八日（古くは陰暦、現代は陽暦）のお釈迦様の誕生日に修する法会。花御堂を

作って釈迦誕生仏を安置し、甘茶（正しくは五種の香水）を注ぎかけて供養する。

プアイナコ ヒロの地名 (Puinako)。

谷口スーパー・マーケット 一九二六年に谷口こういちによって創業されたスーパーマーケット。二〇一二年現在も、プアイナコをはじめハワイ島内6カ所でKITAスーパーとして経営されている

スタンプ 英語からの借用語 (stamp)。切手を指す。

バンバイ ハワイクレオールからの借用語 (Bambai【後で】)。

ロッキード事件 昭和五十一（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐる、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

サスガ 「サスガ」は、普通「流石」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。1976.5.14「不景気だというのが、流石アメリカだ。」と漢字表記されている。

音なしの構え 中里介山『大菩薩峠』の主人公、机龍之介の甲源一刀流の奥義である。自分自身は動かさず、切り結ばず、相手がしびれをきらして斬りかかってきた時に討つ技である。相手の刀と一度も刃を合わせること無く、音がしないので、「音無し」と言う。映画『大菩薩峠』は、一九三五年に大河内伝次郎、一九五三年に片岡千恵蔵、一九六〇年に市川雷蔵が主演している。その意味から転じて、自分からは行動を起こさずに状況を静観する態度、または、他からの働きかけに対して無反応である態度を言うようになった。

コナ・カイルア ハワイ島西岸に位置する“Kauiua Kona”のこと。

キソン 「キソン」は「毀損」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

キラウエア街 street, road, avenue など通りの名称は、「〰街」と日本語に訳するのが一般的である。

一九七六年四月十六日(金)

- ◆一九二四年ごろ、新井禅師が来島、大正寺境内で記念撮影した写真が手に入つたが、名護忍亮師や故永倉永造、故出川廉太郎、故田原仲亮…の諸氏も撮つている(移民資料は一枚く増加)
- ◆ヒロのキク・テレビの視聴最高率は、どてらい男…から、肝つ玉かあさんに移つた(大正庵の人々)
- ◆裏庭の桃は熟したが食べる人なく、一つく、地に落ちてゆき…ウインター・ペアーの枝には小さい実が無数になつている(ハワイも春四月)
- ◆イースター休暇入りで、学童たちが、悪童たちになつたりして叱られている(裏のレオンにたむろして…)
- ◆四月八日の花まつり…もすんだ。おつぎは五月…端午(タンゴ)の節句…に、お盆シーズン(常夏のハワイにも四季感覚あり)
- ◆ハワイ州議会もいよく大詰めに来てパウ これからが秋の選挙に備える共民両党陣である(清き一票の叫び声!)

視聴最高率 日本では、普通、「最高視聴率」と言う。

ウインター・ペアー 英語からの借用語(winter pear)。冬または晩秋に熟す洋梨。

レオン 英語からの借用語(Lane)。「小道、路地」の意。

花まつり 灌仏会の俗称。釈迦誕生の時、梵天・帝釈が降り、仏の身体に甘露を注いで洗つたという故事に基づくと言われる。四月八日(古くは陰暦、現代は陽暦)のお釈迦様の誕生日に修する法会。花御堂を作つて釈迦誕生仏を安置し、甘茶(正しくは五種の香水)を注ぎかけて供養する。

端午の節句 五月五日(古くは陰暦、現代は陽暦)の男子の節句。菖蒲を軒にさして邪気を払い、粽を食べる。江戸時代以降は、甲冑・武者人形を飾り、鯉幟を立てる。

お盆 盂蘭盆会の俗称。陰暦七月十五日ごろに行われる仏事。迎え火をたいて祖先の霊を迎え入れ、供物をそなえ、読経をし、送り火で霊を送る。

パウ ハワイ語からの借用語 (pau) 【終わり、終わる】。

一九七六年四月二十三日（金）

◆日本の話だが、酔っぱらった男が動物園で、カバ（河馬）にかまれて大ケガをし、血だらけになつたという（こんな人はカバよりもつまらないバカだ……）

◆ハワイ大学生（分校も含み）は四万三千百六十三人に増加している（五十三カ国から五・二六パーセントの入学者）

◆「よい子になります」と紀宮（のりのみや）さまが学習院初等科入学の誓いの言葉を力強く同級生と唱和されたという（セーラー服の胸元にさやこ内親王のネーム・プレート）

◆昔はよろこばれなかつた二弗紙幣が、新装をこらして発売されたり使用されているが人気好評（但し、二十弗紙幣と間違えられる心配のあるデザイン）

◆ホノルルの新聞屋さん、新任の塚本総領事を持ちあげたり、賞めたり…の大童（おおわらべ）だが…移民地の名残深し（バンバイは、ヨイト・マケ・ドン）

◆山下進氏はマウイ島を訪れて帰つたが、「これはウマイ土産だぜ」と、マウイ名物のマンジューに…アニアンとピワを賞味させてくれた（故かおる夫人と一緒に銀座の千足屋でピワを買い、ホテルで食べた夜を思い出した……）

◆十六日はグッド・フライデーで久しぶりに晴れ、ヒロの街も人出が多かつた（春休みも去週でパウ）

◆母を讚える「マザース・デー近ずき、ヒロの花屋が大多忙（今年は雨ふりつづき花不足）

カバ 江戸時代後期、日本の蘭学において、オランダ語の「nijlpaard」（ナイル河の馬、の意）を直訳して「河馬」という翻訳語が成立したと考えられる。その「河馬」を字音読みしたのが「カバ」である。動物名は通常片仮名書きする。昭和二十七年、学術用語の表記についての国語審議会の回答による。

大ケガ「ケガ」の語源は、「けがる」の語幹という説もあるが、未詳。

普通「怪我」と表記される。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

バカ 普通「馬鹿」と表記される。語源は諸説あるが、未詳。「カバ」と音の位置関係が逆であることを強調するため、片仮名表記したものであるう。

紙幣 正確な表記は「紙幣」。誤植であろう。

おおわらべ 「おおわらわ」の読みが普通である。

バンバイ ハワイクレオールからの借用語 (Bambai)。「後で」の意。

マワイ名物のマンジュー ハワイ各島には、それぞれ名物があるが、マウイ島のお土産は、Mauiju が有名だと言われている (Sasaki et. al. 1986:89)。

マンジュー 饅頭 (まんじゅう) は、一世によりハワイに持ち込まれた。アニオン 英語からの借用語 (onion 【玉ねぎ】)。マウイ島の玉ねぎ、「マウイオニオン (Maui Onion)」と呼ばれ、甘さが強く美味と評判が高い。グッド・フライデー キリスト教の復活祭 (イースター) 前の金曜日のこと (Good Friday)。通常、聖金曜日、受難日と訳される。キリスト

が十字架に磔にされ、天に召された日。ハワイ州の祝日。

去週 先週、の意。中国・日本での使用例は確認できない。

パウ ハワイ語からの借用語 (pau 【終わり、終わる】)。

マザース・デー 英語 "Mother's Day" (母の日)。5月の第二日曜日。

一九七六年四月三十日（金）

◆五月五日に、ロッキード事件の高官名が発表されると、ハオレの予言者が語り出した（鬼が出るか蛇「じや」がでるか）

◆三十日朝十時半から新しいヒロ空港がオープニング：多数の人々が開場式に参加するであろう（ホノルル空港につぐ国際空港）

◆外国語学校援助案が州会を通過 充当された九万弗は州教育局がプログラムを作成する（日本語教育振興募金委員会の大努力が実を結んだ）

◆ハワイ島市長戦には、民主、共和両党から既に四名が出馬声明（激戦が予想される）

◆大相撲夏場所番附が発表されたが、東正大関に「旭国」が昇進し、高見山は西の張出し小結（若三杉は三度目の小結）

◆ちまき、かしわ餅が食べられる端午の節句がめぐり来る（サツキの鯉の吹きながし）

◆雨で毎日悩んだヒロ：ヤツトのことで晴れた空：常夏の太陽下、碧い海と：そよ風も吹く好日和となつた（長く／＼雨季でした）

ロッキード事件 ロッキード事件 昭和五十一（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐり、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

ハオレ ハワイ語からの借用語 (Haole)。「白人」を意味する。

鬼が出るか蛇がでるか 前途にどんな運命が待っているか予測できないことを言う。江戸時代の慣用句「鬼が住むか蛇が住むか」から出た表現で、傀儡師（からくり人形師）の口上で用いられた。

オープニング 英語からの借用語 (opening)。日本語では、この文脈では、「オープン」と言ったらう。

高見山 マウイ島出身の元大相撲力士。初の外国人力士でもある。

一九六四年初土俵、一九八四年に引退。

端午の節句 五月五日（古くは陰暦、現代は陽暦）の男子の節句。菖蒲

を軒にさして邪気を払い、粽を食べる。江戸時代以降は、甲冑・武者人形を飾り、鯉幟を立てる。

サツキ 陰暦五月の異名。普通「五月」または「臯月」と表記する。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

好日和 「好(こう)」は、接頭辞として、比較的自由に、種々の語に冠せられる。後の例ではあるが、一九九七年、日本の大槻ケンヂのエッセイに「好日和」が使用されている。

一九七六年五月七日（金）

◆ハワイ島日系人協会が建国二〇〇年の基金募集映画「絶唱」は二十二、二十三の両日マモ劇場で上映するが、テケツの前売りは記録破りの上々（三浦友和と山口百恵の名コンビ…）

◆コナ日系協会は、ヒロよりは一日早く二十一日（金）夜、コナ劇場で上映する（ここも建国二〇〇年の募金映画）

◆騒ぐことの好きな日本の衆（しゅう）…は五月一日のメーデーに全国千余力所で労働者の祭典をくりひろげた（二百五十万人が参加した）

◆去る五日は、ボーイス・ー（端午の節句）、吾が子、吾が孫の、しあわせを希つて鯉のぼりが空を泳いでいた（習慣は消えず…）

◆ハワイ島移民資料館に、貴重な資料が、次ぎ／＼に届けられるが、感謝しつつ大切に保存します（姓名も明記して）

◆K P U A 放送局日本語部主任の佐藤しのぶ夫人は休暇を得て、親族訪問のため渡日した（留守部隊長は八木さん）

◆パイパイは高値ですネ…と、ミスター・パイパイ支配人のエンディ林さんに言つたら「雨が多く…不作、品不足なんです」と正直に答えた（これからは安くなろう）

◆新ヒロ空港ターミナルは二千五百万弗をかけた立派な建物なので、乗客よりも見物人の方が多い（ホノルルに次ぐ新式ターミナル）

◆練習船「こじま」は六月十六日にヒロ寄港（総領事館よりも日系人協会に来信…）

「絶唱」三浦友和・山口百恵の映画「絶唱」は、日本では一九七五年十二月二十日公開。

マモ劇場 ヒロダウンタウンのマモ街 (Mamo Street) にあった劇場。

テケツ 英語からの借用語 (ticket)。切符、の意。

コナ ハワイ島西岸の地域 "Kona" を指す。

ボーイス・ー 「ボーイス・デー」の誤りと思われる。端午の節句を

"Boy's Day" (ボーイス・デー) と呼んだ。

端午の節句 五月五日（古くは陰暦、現代は陽暦）の男子の節句。菖蒲

を軒にさして邪気を払い、粽を食べる。江戸時代以降は、甲冑・武者人形を飾り、鯉幟を立てる。

来信 「来信あり」の略と考えられ、手紙が来た、の意。

一九七六年五月十四日(金)

- ◆不景気だというが、流石アメリカだ。食べられずに餓死した人はない(失業者七百万人)
- ◆夏場所大相撲が初まる。ヒロも相撲勝負に興味をもつファンが多い(高山を応援したり、貴の花を応援したり)
- ◆村山有氏の東京ローズ事件の真相連載は終わりましたが、ホノルルからも好読みもの…とホメられた(犠牲になつた小羊)
- ◆長い雨でした…が、ここ数日前から青空天気となつたヒロ(海も、青い小波)
- ◆日系人協会主催の基金募集映画の夕べは、既報の如く二十二、二十三(土…日)の両日、マチネーは午後一時、夜は七時半、両日ともです(優秀映画「絶唱」…)
- ◆新任の塚本政雄総領事は二十四日マンデー飛来する旨 日系人協会に知らせがあつた(アメリカ通の外交官…)
- ◆北イタリーで大地震 死傷者は千数百人(地震はヒロだけではない)
- ◆新ヒロ空港は大きいのと広いので、初めての人は迷います…と話してくれた人がある(迷う筈だよ…ホントウに広い建物)
- ◆ホノルルのククイ・ブラザは黒い霧となつて、フアシー市長の側近者をゆすぶつている(秋の選挙には痛い受難)
- ◆電話会社の新電話帖が発行されたが、表紙はアメリカ建国二〇〇年を記念して十三の星の星条旗である(レッド、ホワイト・アンド・ブルー)
- ◆歌手の克美茂がバーのホステスを殺人 知らぬ顔の半兵衛で北海道で巡業していた(常識を落した人の多いのが、日本の文化人と芸能人だ)
- ◆大統領予選でフォード大統領が苦戦リーガン株が上昇している(共和党は混戦状態)

流石 「さすが」の一般的漢字表記。1976.4.9「サスガは大物だ。」と片仮名表記されている。

高見山 マウイ島出身の元大相撲力士。初の外国人力士でもある。

一九六四年初土俵、一九八四年に引退。

好読みもの「好(こう)」は、接頭辞として、比較的自由に、種々の語

に冠せられる。明治三十七（一九〇四）年四月発行の「文芸倶楽部」第十巻の巻末に「少年世界定期増刊 露西亜征伐」の広告に「戦時に於ける少年諸君の好読物として、露西亜征伐を發行す」とある（2007 熊本大学『国際化時代の異文化受容』所収、溝淵園子「戦争が描く『コーカサスのとりこ』」注13による）。現代でも、二〇一一年十二月、丸谷才一の書評に「好読物」が使用されているほか、書評や出版社の本の宣伝などで多数の使用例が有る。

ホメられた「ホメる」は、普通「褒める」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

マチネー 語源はフランス語“matinee”であるが、英語でも“matinee”（昼の部）と言うため、英語から借用したと考えられる。

マンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

北イタリー 「イタリア」ではなく「イタリー」と言うのは、英語の影響だと考えられる。

知らぬ顔の半兵衛 「しらぬがおのはんべえ」の出典は浄瑠璃。若竹笛舁・

二世並木千柳・近松余七合作、寛政元（一七八九）年初演『木下陰狭

間合戦（このしたかげはざまかつせん）』で、竹中官兵衛（豊臣秀吉の

軍師竹中半兵衛がモデル）について「そのとき官兵衛知らぬ顔」と述

べたくだりがあり、これがこの慣用句の出典である。

リーガン 一九八一年に就任したロナルド・レーガン (Ronald Reagan) を指す。

一九七六年五月二十一日（金）

◆北方領土（カラフト、ハバマエ）問題について日本は要求する権利はないと、ソ連の日本向けモスコウ放送があつたが、日本の共産党も社会党からも反論が出ない（ソ連の赤と日本の赤の黙約）

◆沖縄返還運動は、沖縄の地元民よりも内地の共産・社会党などが、ゲバと暴力運動でキチガイ騒ぎをして、アメリカを悪罵…ののしつたが、ソ連の日本非難にはグーともスーとも云いきれない（こんな奴等には日本はまかしきれない）

◆マウナロアの再噴火を火山科学者たちが確信しているという（二十五年の沈黙を破るか）

◆自民党内に三木退陣工作が動いているが、誰れが総理になつても、国民の中にはバカ、国会の中にはウツツケ者が多いのでウマクは行くまい（スベリこけるお山の大将）

◆文明発祥の地はタイ（シヤム）だという説が出てきたが、山田長政の霊をよび出して、ポロレイか聞いてみたいと思う（でも紀元三千六百年前では、わかるまい…）

◆ゴテ・モメ本山のホノルルの連教総会は五月末だが…会長は、どこの、どなたさまになるのか（オアフ島連合日系協会）

◆練習船「こじま」が六月十六日にヒロに寄港するため、本社は本号で乗組員と実習生の名簿を掲載した…（総領事館より提供）

◆ハワイ島警察署長罷免問題は…いよく泥合戦の様相を示して来た（賛成あれば反対あり、犬が西に向けば尾は東）

◆ヒロの天候…ヤツトのこと「雨より晴」に転向してくれた（青空天気つづく）

モスコウ モスクワ (Moscow) を指す。英語の発音から「モスコウ」と表記している。

キチガイ 「キチガイ」は「気違い」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

マウナロア ハワイ島の活火山 "Mauna Loa" を指す。"mauna" は「山」、

「loa」は「長く」の意。一九二六年と一九五〇年、一九八四年に噴火をおこしている。

バカ 普通「馬鹿」と表記される。語源は諸説あるが、未詳。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ウツツケ者 「うつつけもの（虚者）」の強調形か。普通「うつつけ者」と表記される。おろか者の意。片仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ウマク 「上手く」「巧く」の表記が普通である。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

山田長政 駿河国に生まれ、慶長十六（一六一一）年ごろ、朱印船に乗ってシャム（タイ）に渡り、シャムの都アユタヤの日本町の頭となって活躍し、日本等との外交貿易を推進した。シャムにおいて昇進を重ね、国政の実権を握り、最後はシャムの一地方、六崑（リゴール）の太守に封じられたが、毒殺された。

ポロレイ ハワイ語からの借用語 (pololei【正しごと】)。

紀元三千六百年前 「紀元前三千六百年」が普通である。

犬が西に向けば尾は東 「犬が西向きゃ尾は東」は、ごく当たり前であることの喩え。この場合、「賛成あれば反対あり」という事態が当然であることを強調して言った。

一九七六年六月四日（金）

◆本社が幹旋（あつせん）したヒロとコナの日系協会の募金映画「絶唱」は大好評で泣きましたよ…：あんな良い映画があつたらつづけて幹旋、お世話をたのます…と、映画ファンから電話があつた（涙…頂戴の映画なら必ずうけるヒロ）

◆ヒロの映画ファンは、ギャングものとか、チラリと太ともを見せるポルノ映画は不入りだが、人情ものには弱く、義理と人情のこの世界の名残りをみせている（日本人のよさ）

◆待たれるキク・テレビの「日本の歌」は、加東大助が死んでから司会者が交替、三ツ矢歌子がオチヨボ・グチで頑張っているが、相手役の神山も、遠藤もサツパリ冴えず…（あつてもなくてもよい番組に落ちるゆく）

◆若さだネーと、若い人を賞めていた吾れ…：年だネーと、ウンザリすることがある。招魂祭の三日連休に、風邪のため三日間ベッドの中だった（天候不順であり 健康もまた不順）

◆六日サンデー正午から弘中九十九、池田智榮両氏の受勲祝賀会が、ヒロ明照院ホールで開催される（主催は、ハワイ島日系人協会…）

◆ジエシー高見山が飛来、ヒロ・シヤツピング・センターでサイン会を催したが、矢張り人気があり大ぜいの人々が押しよせた（雨と共に来たり、雨と共に去りぬ）

コナ ハワイ島西岸の地域「Kona」を指す。

「絶唱」 三浦友和・山口百恵の映画「絶唱」は、日本では一九七五年十二月二十日公開。

たのます 「たのみます」に対する「たのます」は、京都の使用例が確認される。「たのんます」と共に、京都・大阪等の近畿方言、また、広島・岡山・阿波・宮崎等、西日本で広く使用されている。

オチヨボ・グチ 「オチヨボ・グチ」は、小さくかわいらしい口、の意。「ちよびと」「ちよびちよび」「ちよぼと」「ちよぼちよぼ」「ちよんびり」「ちよんぼり」等は、小さい、少ない、少し等の意を表す。身体各部に關して使用するケースとしては、「ちよぼ口」「ちよび鬚」「ちよんぼり目」

等が有る。「おちよぼ口」の「お」は接頭辞で、近代では慣用的に冠する。平仮名・漢字交ぜ書きより片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

ジェシー高見山 マワイ島出身の元大相撲力士。初の外国人力士でもある。一九六四年初土俵、一九八四年に引退。愛称ジェシー。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

ヒロ・シヤツピング・センター "Hilo Shopping Center" のカタカナ表記。

通常日本語では「ショッピング」と表記するが、「シヤツピング」と表されている。

雨と共に去りぬ 「風と共に去りぬ」の洒落。一九三六年刊行のマーガレット・ミッチェル作『風と共に去りぬ』は、三年後の一九三九年、ヴィヴィアン・リー、クラーク・ゲーブル主演で映画化され、一世を風靡した。

一九七六年六月十一日(金)

◆前号で、日本交通公社副社長・広江欣四郎氏のことを書いたところ、広江さんから電話があり、近々中、日本の本社へ転勤辞令が来たこと知らせがあった。(欣さん本社へ帰任)

◆KZOO放送局社長・小林虎男氏、所用をおびて去週飛来したが、ヒロの新空港ターミナルは、実に立派だ…と賞めていた(ハワイ島の玄関でございます)

◆学校は夏休み入り：これからまた三カ月間、非行少年やチンピラが盗人、カツパライ、暴行を続出さす悪い休みである(良い子と悪い子とわかれる夏休み)

◆大規模なピストル密輸入団が、日本の警視庁から逮捕(たいほ)、とり調べをうけているが、ハワイの二世らしい男もふくまれているらしい(ホノルルに住む三人男)

◆六月は結婚月だ。洋装、和装の結婚衣裳(いしよう)とウエディング・ケーキの売れる月だ(一生の思い出となる品々)

◆天皇・皇后陛下ご歓迎のために結成されたハワイ州日系人在留邦人奉迎委員会は、去る四日総領事館に於ける代表者会議で正式に解散した(いぐるぐさま)

◆保安大学練習船「こじま」は、十六日朝ヒロに入港するが、二十一日に出港の予定(ハワイ島日系協会が歓迎プログラムを作成)

◆日本テレビ企画室の藤井明美さんが去週飛来、火山見物をして帰った(マウイ経由で)

帰任「帰任」は、暫く離れていたもとの任地に帰ること。

KZOO ホノルルの日系・日本人向けAMラジオ局。一九六三年に開局。去週 先週、の意。中国・日本での使用例は確認できない。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくる事。

カツパライ 漢字では「搔払」と表記される。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

火山 キラウエア火山(Kilauea)を指す。

一九七六年六月十八日(金)

◆移民社会時代に、ホノルルに赤聞(新)聞があり、暴露記事やゲナク(記事で、巷(ちまた)の話題を作ったり、こしらえたりしたが、あれから八十年、ロツキード事件、ウオターゲート事件、ホノルルのクケイ・ブラザー事件：などと、汚職ニユースで賑わっている(昔も今も、同じだネ)

◆キクTVで芸能生活五十年の高田浩吉(六四才)さんを見たが、この男の若々しさには驚いた(新聞生活五十年のハワイ組は白髪だつたり、ハゲ頭だつたりなのに…)

◆ハワイ島の選挙運動は、ゲンく(と)活気がついて来た。若き力が案外(の)びるので、現職でも当確などは一人も居ないらしい(市長戦に…市会議員選戦…)

◆ハワイ島からホノルルへ養子に行つたようなネルソン土井副知事が、ホノルル市長に出馬したが、相手は海千、山千のファシード、強敵だネーと、ハワイ島の知友は語り合っている(清く、正しく明るい政治は土井氏だ)

◆共和党国会上下院候補のウイリアム・クイン元州知事飛来、十二日正午、ナニロア・ホテルでプレス会議を開いた(知事時代より白髪が増えて(いる))

◆シャツピングセンター、カイコ・モール内には買物する人々と、時間ツブシの年長者組のお語り組も多く…人の数は、まことに多い(ヒマ人の集会所)

◆ホノルルでも同様、アラモアナにも、シニア・シテズン・グループが陣取つて昔話(し)に花を咲かせている(昔はアアラ・パーク組があつたが…)

◆六月は暑気キビシイ布哇であつたが、今年(は)初秋の候で、夜分は冷寒を覚ゆる(常夏でなく、常秋(トコアキ)のハワイに変わるか?)

◆日本からの観光客、予想外に多く、ジャツキ観光バスは、毎日総出勤が続いている(ガイドさんも非常召集)

ゲナク(記事 「げなげな話」を記事にしたもの。「げなげな話」の原義は、文末に伝聞であることを表す「げな(だそうな)」を用いるところから、

昔話のことである。転じて、山口県・島根県等で、法螺話、嘘話、あやふやな話を言う。

ロッキード事件 昭和五十一年（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐる、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

ナニロア・ホテル 現在の Naniloa Volcanoes Resort。ヒロ湾に面して建っている。

プレス会議 "press meeting"（記者会見）の意。"meeting"のみ日本語に訳した造語。

シャッピングセンター 通常日本語では「ショッピング」と表記するが、「シャッピング」と表されている。

時間ツブシ 「時間ツブシ」は、普通「時間潰し」と表記されるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

お語り組 おしゃべりを目的とした人々の意であろうが、使用例は見いだせない。

ヒマ人 「ヒマ人」は普通「暇人」または「閑人」と表記される混種語（いわゆる湯桶読みの語）であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

アラモアナ ホノルルにあるアラモアナ・センター (Alo Moana Center) を指す。一九五九年にアメリカで最大のショッピングセンターとしてオープンした。

シニア・シテズン・グループ 英語からの借用語 (senior citizen group) 【高齢者グループ】。

アラ・パーク、ホノルルの "Alo Park" を指す。

キビシイ 「キビシイ」は普通「厳しい」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

布哇 ハワイ。

覚ゆる 現代語の「覚える」の古形は、ヤ行下二段活用の「覚ゆ」である。

その連体形が「覚ゆる」であり、二段活用の一段化が起こる以前は、「覚

ゆる」が終止形としての役割を果たした。

ジャツキ観光バス ヒロの観光バス会社 "Jack's Tours" のじや。

一九七六年六月二十五日(金)

◆一九九五年：即ち二十年後には、ハワイの人口は数に於いて女性上位になるという(理由は、男子移民の減少だと)

◆今上陛下の従姉にあたる韓国李王朝最後の皇后・李妃殿下が来布：ホノルルの岡畑ダクターがお世話をしている(よく世話をする岡畑さん)

◆コナ病院々長任命問題でゴタ／＼が続いているが：火の手はカイルアのハオレ(マリヒネ)組が揚げているらしい(コーヒー山の日系人は静観)

◆保安大学練習船「こじま」は二十一日出港したが：碇泊六日間はハワイ島日系人より温かい歓迎をうけた(ホスピタリティー溢れるハワイ島の伝統)

◆高校生の不良化防止方法を教師達が発言(親と教師に責任)

◆こじま船長・寺田三郎氏は上村雅一日系人協会の案内で本社と移民資料保存館に来訪した(貴重な資料ですネと感激)

◆入院中だった、元老、平野邑夫氏は、退院して自宅養生中であるが、十六日夜の「こじま」歓迎夕食会に出席した(愛娘、愛妻を同伴して：)

◆ハワイ・タイムス支局長津川さんが欧州見物に出発したので留守師団長は村井正雄氏である(電話は〓九六四・一七七三)

◆大相撲ハワイ場所の総評をホノルルの相撲専門家野口幸男氏がハワイ・タイムスに面白く書いている(人気力士の貴の花や高見山のことどもも)

◆ハワイ島も秋の選挙色が強くなり、各候補も運動員も元気一ぱいで、活動をにつづけている(予選が本選の候補者も多い)

李妃殿下 李方子(まさこ) 妃殿下。一九〇一年、皇族梨本宮家の長女として生まれ、十八歳の時、韓国李王朝最後の皇太子、李垠殿下の妃となった。戦後は、韓国で福祉活動に献身された。

来布 ハワイに来ること。

ダクター 英語"doctor"からの借用語。通常日本語では、「ドクター」と表記する。

カイルア ハワイ島西岸に位置する"Kailua Kona"の町。

ハオレ ハワイ語からの借用語(haole)。「白人」の意

マリヒネ ハワイ語からの借用語 (malini)。「来訪者、よそ者」の意。
ハワイ語に忠実に表すと「マリヒニ」となるだろう。

ホスピタリティー 英語からの借用語 (hospitality)【温かいもてなし、歓待】。
自宅養生中 現代日本では「自宅療養中」が普通であるが、「養生」と「療
養」は、「病气やけがの手当をする」という共通義がある。

愛娘 「あいじょう」と読む。「娘」は「嬢」の異体字で、音も意味も同じ。
留守師団長 戦時中の軍隊に擬えた表現。軍隊で、「師団」が外地に出征
すると、内地に「留守師団」と呼ばれる部隊が置かれ、その「長」を「留
守師団長」と呼んだ。

高見山 マウイ島出身の元大相撲力士。初の外国人力士でもある。
一九六四年初土俵、一九八四年に引退。

一九七六年七月二日（金）

◆ライオンズ会議（四万五千人）が終つてハワイ島に観光客がドツト押しよせ、二十五、二十六の両日からサンデーにかけて観光バスは満席で動いていた（好天で山も見ゆ）

◆オピヒ採り、また一人溺死（できし）：ロープがぶつくり切れて、三十呎の海中に墜落（恐ろしい不意打ちの大波）

◆新聞に出る初盆供物お断りの広告：をみて、そうだった、アツコも初盆だったワイと知ることが多い（義理と日系家庭）

◆日本からジャーマン・ミーズル（伝染病）がハワイに上陸、衛生局では予防注射をすすめている（わしは、マダでガンスがのう）

◆福岡二世のくせに、ピリツとしたところのない有吉知事：そのために民主党体制に崩壊（ほうかい）の危機に面した：と党員が知事責任をなじつている（ぬるま湯州知事）

◆熱い湯か、冷たい水には味があるが、ぬるま湯は味なし：吐き出せど、教えられた明治、大正の少年たちであつた（ハワイは常夏、水の味なし）

◆ロッキード事件調査急速に進み：白紙還元（かんげん）は田中前首相の発議だと、海原前国防会議局長は証言（いよく出て来た角さんの獅子舞）

ドツト 擬態語。片仮名で表記されることが多い。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

見ゆ 現代語の「見える」の古形は、ヤ行下二段活用の「見ゆ」である。その連体形が「見ゆる」であり、二段活用の一段化が起こる以前は、「見ゆる」が終止形としての役割を果たした。

オピヒ採り 「オピヒ」はハワイ語からの借用語（opihī）。ハワイ固有の食用貝。カサガイの仲間で、三種類ある。ハワイ人にとって貴重なタンパク源だった。貝殻は装身具等に加工する。オピヒの生息地は波の荒い岩場で、採集者が波にさらわれて死ぬ事故が生じている。

三十呎 「呎」は「フィート」。一フィートは三〇・四八センチメートル。三十フィートは約九メートル一四センチ。

アツコ 他称・遠称の代名詞「あそこ」の意。広島県・和歌山県など、

広い地域で使用される。

ワイ 本来、詠嘆をこめた確認を表す終助詞。現代では、高年齢の男性が用い、また、広島県・岡山県などで広く使用される。

ジャーマン・ミーズル "German measles" のカタカナ表記。「風疹」の意。ガンス 「じゅんます」の意の補助動詞として用いる。広島県・岡山県などで使用される。

のう 広島県・山口県で使用される。

ロッキード事件 昭和五十一年（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐる、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

一九七六年七月三十日(金)

◆海王丸寄港：ハワイ島人士は伝統のホスピタリティーを濃くして歓迎に つとめてゐる(つばさを休めるオイラン船)

◆総理府主催、第十回「青年の船」につば丸は、二十七日にホノルルに寄港、乗船の男女三一五名が船上で交歓会を催した(アメリカ建国を祝して……)

◆火星の空はピンク色だと加州大学ジェット推薦研究所が発表した。が：まだ赤化していないので安心(火星人が棲んでいるか否かは不明)

◆何処へ行くロッキード：十七億円はうけていないと児玉、疑惑点を全面的に否定：と新聞の大見出し(何処へ行つた？ 航空機です：あつち、こつを飛んでます)

◆ロッキード事件の不気味な存在は、等々力の病人：目白台の大富豪、ナノの字とに、八字の：とあつたが、八字のは橋本登美三郎元運輸相らしく、サテそれではナノのは誰のことやら(上州の派閥師団長?)

◆モントリオールのオリンピック大会TV、毎夜放映されるが、ハワイではアメリカの優勝のところが多く、日本の勝つた場面はチヨツピリ(日本では日本勝つたら大うつつだ)

ホスピタリティー 英語からの借用語 (hospitality【温かいもてなし、歓待】)。
加州大学ジェット推薦研究所 加州大学は「カリフォルニア大学」を指す。

「ジェット推進研究所」(Jet Propulsion Laboratory)の誤り。NASAの宇宙開発計画や宇宙探索探査計画の技術開発に携わる研究機関。

こつ 「こつち」の誤りと思われる。

ロッキード事件 昭和五十一(一九七六)年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐり、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託取賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

等々力の病人 児玉誉志夫を暗に指す。

目白台の大富豪 田中角栄を暗に指す。

ナノの字 中曽根康弘を暗に指す。

八字の 橋本登美三郎を指す。

上州 中曽根康弘氏は群馬県生まれ。

一九七六年八月二十七日（金）

◆ 鳴りもの入りのドンチャン騒ぎを演じているロツキード事件は橋本元運輸省を逮捕したが、収賄は現金五百万円（米金の僅か約一万五千ドル）

◆ 佐藤孝行元運輸政務次官も逮捕されたが、収賄は約六千ドル（騒ぐことがバカらしい。鼻クソ金でござる）

◆ 阿波の徳島十郎兵衛の三木クリーン首相は、ハシヤギ過ぎて、クリーンどころか苦輪に落ち込んだ（重箱のスミを、歯ようじ「トース・ペッキ」でつつく男）

◆ ロツキード事件とは、アメリカがたくらみ、アメリカがアバき、ひつかかつたのが被害者日本だ（昭和版の内政干渉）

◆ ホノルルの論客、山口二世の沖岩正先生が飛来：「新潟から田中角栄なんて大変な男が●たのう、ロツキードで：」と話し出したので「沖さん：田中の角さんは、昭和の西郷隆盛だ、ドロ水を一身にかぶた、政界の助け神だ」：と答えたら、「そういう見方（みかた）もあるかノウ：と首をヒネツテいた（今、太閤から大西郷●なる？）」

◆ ハワイ島日系人協会主催：アラエ墓地の布哇日本人先亡慰霊塔の慰霊祭は八月二十九日サンデー午後二時より行ないます

（導師は大正寺の青木俊亨開教師）

ロツキード事件 昭和五十一（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロツキード社が、全日空の航空機選定をめぐり、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

鼻クソ金 取るに足りない、少額の金銭を、軽蔑して言う語。同様の表現に「目糞金」がある。「クソ」は普通「糞」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ハシヤギ過ぎ 「はしゃぐ」は、本来は乾燥する意、転じて、浮かれさわぐ意。前者は「燥ぐ」と表記され、後者は「はしゃぐ」と片仮名表記されるのが普通。片仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

クリーン 三木武夫氏は、三木内閣成立当時、一般に「クリーン三木」と呼

ばれていた。「ダーティー田中」に対する表現。「クリーン」と「苦輪（くりん）」は洒落。

苦輪 仏教語。生死輪廻（しょうじりんね）の苦しみからのがれられないこと。三木首相が政治的苦境に陥つたことを、「苦輪」に擬えたのである。ろろ。「クリーン」と「苦輪（くりん）」は洒落。

スミ「スミ」は普通「隅」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

歯ようじ 元来、インドの仏典で、小枝の先をかんで、細かい筋のようにして、歯垢を取り除いたことから始まった。その後、楊柳の小枝の先端を叩いて裂き、総状（ふさじょう）にしたものを使用した。柳の他、竹・杉なども使用され、江戸時代は、黒文字（クスノキ科の落葉低木）の木の樹皮をつけたまま楊枝にしたものが珍重された。中世後期、今日の爪楊枝に当たるものが作られ、歯を磨くための「楊枝」と区別するために、前者を「爪楊枝」「小楊枝」、後者を「総楊枝」と呼んで区別するようになった。「歯楊枝」は、「歯磨き楊枝」とも言い、歯を磨く時に用いる総楊枝のこと。従って、英語の“tooth pick”とは別物である。「重箱の隅をつつく」に適するのは、爪楊枝であろう。ここは、「爪楊枝」または「小楊枝」とあるべきところ。

トース・ペツキ 英語からの借用語（tooth pick【カタカナ表記】）。

アバキ 「アバキ」は普通「評く」「暴く」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

のう 広島県・山口県で使用される。

ノウ 広島県・山口県で使用される。

ヒネツテ 「ヒネる」は普通「捻る」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

アラエ墓地 ヒロにある“Arae Cemetery”のこと。布哇日本人先亡慰霊塔があり、日系人の墓石が多い。

布哇 ハワイ。

先亡 前に亡くなった先祖、の意。曹洞宗では「先祖供養」のことを「先亡諸霊回向」と言う。最近死亡した人(四十九日以前)を供養するのが「新亡供養」で、前に死亡した人(七七忌を過ぎた人)を供養するのが「先亡供養」である。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

一九七六年九月三日（金）

◆建国二〇〇年を記念してジョージ・ワシントンを元帥に昇進させる法案を国会で可決、米国最高位の将軍にした（独立戦争の指導者カラー（色）を今更濃厚に…と、吾等はヘソを曲げたい）

◆元帥よりも初代大統領のワシントンに二〇〇年後の吾等は敬愛の念を強くする（国の父は職業軍人ではなかつた）

◆長いく政治生活からヤツトのこと「晴天ヘキレキ」…とよろこんで首相の座についた三木武夫総理、居心地がよいものか…反三木陣営と強硬に対立してネバつている（自民党内は二対一で三木反対）

◆今夏の日本の海外旅行熱は二〇才台が大巾に伸びたという。景気回復、円高で割安感というが（二〇台は、ほとんどが、自己負担でなく、親のスネかじり組）

◆ゼネラル・モーターズ会社は、一九七七年型の新車を平均二百六十九ドル値上すると発表した。五・八パーセントの値上げである（輸入外国車の値上げも予想されるから…自動車買うなら今のうち）

◆東京では、少なくとも百年以内に関東大震災級の大地震は起きないと思う…と地震学者が発表した（これなら安心して日本旅行が出来る）

ヘソ「ヘソ」は普通「臍」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ヤツト「ヤツト」は「やうやう」と同語源かとされるが、未詳。平仮名表記されるのが普通である。平仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

青天ヘキレキ 一九七四年、三木武夫氏は首相に指名された時「青天の霹靂、予想たにしませんでした。非常に光榮に存じます。」と感想を述べた。「青天の霹靂」が普通の表現・表記である。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ネバつている「ネバる」は「粘る」と表記される。ある場所に長時間腰を据えることを言う。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

スネかじり組「スネかじり」は「臍齧り」または「脛齧り」と表記される。

漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ゼネラル・モーターズ会社「General Motors Corporation」日本では、「ゼネラル・モーターズ」と言う。また、海外の会社名に「会社」を後接することは、まれであろう。

一九七六年九月十日（金）

◆ロッキード事件の稲葉法相は、同県の田中角栄氏いじめにヤツ氣となっているが…村上市出身で中大法卒、法学博士、当選十一回、六十五才…ここまではよいが、同じ自民党でも中曽根派だ（地元新潟県下の時局講演会で…会場から中曽根幹事長の探査はどうしたと、ヤジがとんだ）

◆関東大震災（大正十二年九月一日）から五十三年目、東京では弔靈の鐘が三回ひびきわたり、参列者は全員黙とうしたという（高松宮も焼香）
◆ホノルルで八十五才の老婦人を強姦した青年が捕まつたが、こ奴は穴だつたら石垣の穴でも欲しい奴（バカか、アホーか、変態性か？）

◆マリファナの密栽培 捕える警官 裁判したら軽い罪…とうく栽培の畑にダイナマイトを仕掛ける野郎共があらわれた（ハワイ島に起きた事件）

◆茨城県美容組合の着付け実演は来会者多く大成功であったが、主催は有志でも、働いてくれた婦人たちは主婦の友の会有志の人々（感謝く）

ロッキード事件 昭和五十一年（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐる、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託収賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

ヤツ氣 「ヤツ氣」は、通常「躍起」と表記される語である。原義は「おどりあがる」、そこから転じて、「むきになる」「気持ちちはやる」意。意味的連想から、「起」を「氣」と表記したか。

ヤジ 「ヤジ」は、普通「弥次」または「野次」と表記される。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

弔靈の鐘 「弔靈の鐘」の誤り。大型の辞典類にも掲載されていない語である。霊を弔う意。「慰霊」とほぼ同義である。関東大震災の死者慰霊のために、中華民国の仏教普濟日災会が日本に寄進した「幽冥鐘」を、別名「弔靈の鐘」と呼ぶ。東京都慰霊堂に安置されている。毎年、皇

族の参列のもと、「秋季慰霊大法要」として、九月一日十一時五十八分に「弔霊の鐘」を三回つく法要が行われる。

バカ 普通「馬鹿」と表記される。語源は諸説あるが、未詳。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

アホー 普通「阿呆」と表記される。語源は諸説あるが、未詳。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

一九七六年九月十七日（金）

- ◆政治献金は今後も堂々と行なう…、丸紅の松尾泰一郎社長が記者会見で語つたが、その意気く（ヘコタレルなかれ）
- ◆ハワイ島も予選近づき、各候補者の運動が激しくなつて来た（続々入る選挙広告）
- ◆ユニオンはユニオン向きの候補をインドースしたが、商業会議所や請負業組合は、別な候補をインドースして、労資合戦を展開している（一般大衆は自由投票）
- ◆ハワイ島移民資料館も、館内のデスブレーに少々力を入れているが、デスブレー（展示）よりも資料集めに全力傾倒である（一日く）となくなり消えゆく移民資料）
- ◆禁剤へロインやマリファナ栽培は、ここかしこに密培する。警官は追えども犯人はうまく逃げている（若人は森（禁）剤で亡ぶであろう）
- ◆国会上院戦は、松永かミンクか…中年層とビズネスマンは松永 若き力と婦人層は断然ミンク…とわかれている（大激戦展開）
- ◆予選の日（十月二日）は刻々とせまるが、K I P A の日本語選挙広告は、月曜から土曜まではダメで、サンデーだけ…「一候補三十秒、一回限り…」と制限した（各候補に公平を期するためだと、ゴードン社長談）
- ◆新聞は頁に限りがあるから、候補者のハミダシ広告は断られるが、ラジオは違う、断つたら F C C に「恐れながら…」と訴えられるので、K I P A 日本語部はコロバヌ先きの杖（つえ）を考えたらしい（毎朝一時間三十分の日本語放送時間に、四十八人のハワイ島候補者の選挙広告は無理だから不公平…サンデーなら五時間あるから、まかなえる…というわけ）
- ◆吾が植えし、ナスビの苗スタクくと大きくなりぬ…小さい花もつき、俄か百姓の楽しみ …親の意見とナスビの花は、千に一つのアダがない…尤も害虫がつかなかつたら）
- ◆日本に大暴風雨、列車のダイヤも離れ、街中が浸水、死傷者も大被害も報じられている（昔ながらの二百二十日の猛威だ）
- ◆二百十日もことなくすんで村の祭りの太鼓が響く…は昔の農村風景 年の二百十日は無事だつたが、二百二十日が荒れまくつたのだ（農村の

損害も甚大)

◆ローカル新聞は有権者に親れますよ…と、民共両党候補者から選挙広告が、つきづくに申込みがある(本号は二頁ふやしました)

◆国会大院議戦、松永かミンクか…本島も激戦となろう(支持層、まつ二つにわかれる)

へコタレル 途中でくじける意。「へたる」と同根であろう。「へこたれる」は、平仮名表記されるのが普通。平仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ユニオン 英語からの借用語(union【労働組合】)。

インドース 英語からの借用語(endorse)。「支持する」意。

ディスプレイ 英語からの借用語(display【展示】)。

禁剤 大型辞典類にも載録されていない語。禁断の薬、禁止された薬剤、の意であろう。

亡ぶ 巴行五段活用の「亡ぶ」の連体形である。巴行上二段活用の「亡ぶ」の連体形は「亡ぶる」。

ビジネスマン 英語からの借用語(businessman)。日本では「ビジネスマン」と表記するのが一般的である。ハワイでは、“business”も「ビジネス」と表記する。

ダメ「ダメ」は、元来、囲碁の用語から一般化した語で、普通「駄目」と表記される。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

ハミダシ 「ハミダシ」は「ハミダス」の連用形。「はみだす」は一定のスペースにきちんとおさまる、の意。普通「はみ出す」と表記される。仮名・漢字交ぜ書きより片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

コロバナ先きの杖 失敗する前に、あらかじめ対策を考えておく意。普通の表記は「転ばぬ先の杖」。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ナスビ 日本語の古形は「なすび」である。室町時代以降、女房詞である「な

す」の語形が全国に広まった。現代は、西日本で「なすび」、東日本で「なす」が使用される傾向がある。

親の意見とナスビの花は、千に一つのアダがない。「親の意見と茄子の花は千に一つも徒は無い」という諺があり、「一つも徒は無い」が普通。「あだ」は、無駄の意味で、通常「徒」と漢字表記される。茄子の花は、無駄花が無く、全て実がなるところから言う。古語で、第二拍清音の「あた(仇)」は、かたきの意、第二拍濁音の「あだ(徒)」は、むだである意と、区別された。江戸時代中期以降、前者の第二拍が濁音化し、混同され易くなった。「アダ」の表記については、平仮名若しくは漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

二百二十日 立春から起算して二二〇日目に当たる日。九月十一日頃。台風の襲来が多く、農家の三大厄日として警戒される。

二百十日 立春から起算して二一〇日目に当たる日。九月一日頃。稲の開花と台風の襲来とが重なる時期なので、農家の三大厄日として警戒される。

一九七六年九月二十四日（金）

◆今般、急にフライリッピン大使館参事官としてミンダナオ島に駐在することになりました。ヒロの皆様によく…と、ヒロ馴染の伊藤敏夫前領事から来信があつた（伊藤参事官は大東亜戦争勃発（ぼつぱつ）の時にも同地に在住したことがある）

◆新潟県出身の黒姫山、豊山、大錦 の三力士は今場所はマアくの白星（押しの黒姫山は花形であつた）

◆三木改造内閣に、旧田中派より二名の入閣だが…減らしたのでなく、田中が三木相手にせず…と、袖にしたワケ（太平洋派がオコボレ頂戴）

◆養豚業で成功した長嶺将範さんが死去したが、沖繩の戦災孤児四人も呼びよせて成育させた篤行の人だつた（人よんで子育て観音の愛称があつた）

◆選挙近すぎ、候補者も、運動員も猛運動…特にヒロは若き層が、カードくばりに熱意をみせている（オツサンたのむで…）

◆去週ホノルルに飛び、塚本総領事や茨木首席領事と公私の用を話したが、馬場領は席をはずしていたので…会えなかつた（わずか十分間で一件落着）

来信 「来信があつた」は、手紙が来た、の意。

去週 先週、の意。中国・日本での使用例は確認できない。

一九七六年十月一日（金）

◆一匹狼の、河原市会議員候補は、孤軍奮闘で、猛運動中だ（ハワイ島市会には、こんな人物が一人位は必要だ）

一九七六年十月八日（金）

◆終りました：予選が：勝った人、破れた人、…よろこびと悲しみがハツキリ別れたのです（勝つも負けるも武士の常です）

◆本社、大久保氏は、二日早朝、投票をすませて出府、KZOO放送局からハワイ島の選挙結果を、ホノルルからハワイ島に放送した（ホノルルとハワイ島を結ぶ電波）

◆アンタは、モウそろく、引退適齢でしょう…と言われる人があるが、引退せず、モウ一と跳ね、跳ねたいと思う（七十男の執念）

◆明治男はダンく、と数すくなくなるが、残存組は弱くとも明治の意気をつづかせたく思う（日本でもハワイでも）

◆平野邑夫御大は、病後ますます、元氣となり、スパーク松永国会議院議員の選挙運動にコナまで車をとばした（熱のある明治男）

◆本社のKZOOからの選挙速報は、アドヴァータータイザー記者のヒュー・クラーク氏や、KIPAのオコナ敏子夫人が郡書記局から協力してくれた（刻々に入つた電話）

◆コナ日系協会長の木村寿氏がサンデーに来社したが、『やはり山口県はタイシタもの…十四勝一敗で「魁傑」が優勝した』と気嫌がよかつた（山口県バンザイ）

◆資金難で苦しむ国会下院候補ジョー黒田氏に同情が強く、金がなくとも心配するな「清き一票」で応援すると語る年長者市民が多い（激戦です）

◆ハワイ島、四放送局の選挙速報は全部英語…そのために本社はホノルルのケズー放送局とタイアップして十一月二日には午後七時ごろから…ハワイ島の選挙結果を日本語で放送します（ご期待を乞う）

ハツキリ「はつきり」は、平仮名表記されるのが普通。平仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

出府 ホノルルに行く意。

KZOO放送局 ホノルルの日系・日本人向けAMラジオ局。一九六三年に開局。

アンタ 対称代名詞の「あなた（貴方）」が、江戸時代後期に変化したものの。明治以降、関西では、対等以上の者に対して親愛の気持ちをこめ

て使用される。関東では、下位者に対して用いる卑俗な言い方である。ここは、前者の用法である。

モウそろくく 「モウ」は、既に、もはや、の意。「もう」は、平仮名表記されるのが普通。平仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

引退適齡 引退するにふさわしい年齢、の意。「適齡」は、普通には、「徴兵適齡」「結婚適齡」等と使用される。

モウ一と跳ね 「モウ」は、更に「一跳ね」加えようとする意志を表す。右の「モウそろく」の「モウ」と異なる意味で用いていることを強調するために片仮名表記し、効果を狙ったもの。

ダンく 「ダンく」は、「段々」または「だんだん」の表記が普通。漢字・平仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

コナ ハワイ島西岸の地域“Kona”を指す。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

タイシタ 「タイシタ」は、「大した」の表記が普通。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

気嫌 「機嫌」が本来の用字。しかし、平安末期成立の古辞書『色葉字類抄』に「気験」と表記した例があり、これはこの語の「表情等にあらわれている気分の善し悪し」という転義に引かれた表記であると考えられる。こここの「気嫌」も、同様の事情であろう。

バンザイ 「万歳」と漢字表記されるが、感動詞として、めでたい事を祝して叫ぶ声を表す場合は、片仮名表記されることが多い。

ケズー放送局 KZOO放送局のこと。 ホノルルの日系・日本人向け AMラジオ局。一九六三年に開局。

一九七六年十月十五日（金）

◆手不足新聞社で八頁を発行することは、苦勞がいろいろありますが、こんな新聞が続いたら、新聞社は快よい息がつけます（広告主に感謝）

◆プナ本願寺の慶讃法要特集号に、塚本総領事と藤谷総長の顔写真を入れることを五十嵐開教使に約束しましたが、カツトの注文が印刷の日までに間にあわず、約束が果せなかつたことをおわびします（編集室）

◆次号は、ヒロ法眼寺の七十五周年並に、新寺院十周年の慶讃法要の特集号を発行します（全社員と云つても僅か四名ですが、全力をあげて……）

◆故人をしのぶ「特集号」本号では故伊勢本久人氏の一代記を掲載しましたが、伊勢本末亡人によるこんでもらえるでしょう（知友各位から表敬の広告を頂いて……）

◆次ぎ…になります、故松野亀蔵氏の一代記を特集する考えです（各位の広告援助をねがつて…）

慶讃法要 「きょうさんほうよう」と読む。仏教における大規模な祝賀法要を言う。本来、「慶讃」は、仏徳をほめたたえる意であるが、そこから、仏像・堂塔が完成・落慶したことを祝賀する意となった。

一九七六年十月二十二日（金）

◆ハワイ島の声を、ホノルルのKZOO局を通じてハワイ島の人々に送る特別番組は三十分間の短かい時間だが…候補者の声や、後援者の声…ヒロの歌姫たちで、みのある番組だった（松永上院…又吉市長を応援する真剣な叫び…）

◆黄金の価値ある大切な清き一票だ…ジーツト考えて、社会のため、自分のためになる人を選ぶことだ（お祭り騒ぎは禁物、ウソ約束に迷わされることなかれ）

◆ホノルルに来てごらん…新聞ゴロやラジオ・ゴロ…という新種族がゴロゴロしていますよと…教えてくれたが、私には信じられない（良識あるべき人々）

◆天高く馬肥ゆるべき秋であるが…私には秋の夜は短かく、仕事は忙しく、肥えるヒマもなく、眠るヒマもすくない、選挙時だ（神のみぞ知る十一月二日の審判）

KZOO局 ホノルルの日系・日本人向けAMラジオ局。一九六三年に開局。

ジーツト 深く静かに考えるさまを表す語である「じつと」の強調形。「じつと」は、平仮名表記されるのが普通。平仮名表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

新聞ゴロ 弱みに付け込んで、脅して金銭を要求する人。

ラジオ・ゴロ 「会社ゴロ」「新聞ゴロ」からの造語と思われる。

ヒマ「ヒマ」は普通「暇」と表記される和語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

一九七六年十月二十九日（金）

◆ヒロにもコソ泥棒、大ドロ棒が横行、被害者は、ここ、かしこに出ている（警官の手ぬるさに悲難の声）

◆泣いても、笑つても…十一月二日が天下わけ目の大勝負（本選挙の日）

◆新聞社の階下ルームを歩きながら、ヨコ木に、イヤツ…というほど頭をぶつつけて、額（ヒタイ）に二吋の傷をうけた記者…「どうした、その傷は？」と会うアイカネから質問をうける（年をとると、額の皮はうすくなり反対にツラの皮は厚くなるよ、と苦笑）

◆共和党のUPI記者（ヒロ）のビル・アバロ氏は加州在住だが…ウイン・コン・チョン市長候補応援運動のため飛来して戦況を調べていた（又吉市長陣営も体制強化）

◆国会上院議員には、スパーク松永を！ と、ハワイ島は猛運動を開始している（比島人 社会もスパーク松永氏をエンドースして支持）

◆「コギク」の鈴木瑞枝女史と藤井画夢夫妻飛来、ハワイ島移民資料館や蘭園を訪れて、パチリ〜と撮っていた（夫妻とも撮る腕は本職ハダシ）

コソ泥棒 「コソ泥」に同じ。一九二六年の『海に生くる人々』の「コソ泥棒みたいに」の例があり、一九四三年の『北京の幽霊』にも「つまらぬこそ泥棒でございました」とあるが、現代では用例を見ない。

悲難 「悲難」は誤植。「非難」とあるべきところ。
ルーム 英語からの借用語（room）。

イヤツ…というほど 「いやというほど」の強調形。もういらぬ、と言うほど、の意から転じて、甚だしく、の意。本来、この「いや」は感動詞なので、片仮名で表記することが多い。

二吋 「吋」はインチ。一インチは二・五四センチメートル。二インチは五・〇八センチメートル。

アイカネ ハワイ語からの借用語（aikane【友人】）。

ツラの皮 普通「面の皮」と表記される語は、顔面の表皮の意であり、「面の皮が厚い」という慣用句で、恥知らずである、あつかましい、の意を表す。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、

語の意味が強調される。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

比島人 フィリピン人

エンドース 英語の“endorse”からの借用語。支持する意。

本職ハダシ 「はだし」は、名詞に直接付けて、その道の専門家でもかなわないほど、すぐれていることを表す。「跣足」と漢字表記、若しくは

「はだし」と平仮名表記するのが普通。漢字・平仮名表記より片仮名表

記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

一九七六年十一月五日（金）

◆本選挙も終了した。当落も決った。試合は了つたのであり、遠山の金さん張りと言うならば一件落着（奮闘した各候補）

◆カゼ薬りは効かないと断定された失格品目が九十一と日本で発表（鼻クソあんぼん丹の類か）

◆銀行はサトウ業を見捨てず 今後ともキビ栽培業者にはお金を貸します（百年の糖業を支持して来たハワイの銀行団）

◆ホノルルの日本劇場で「愛染かつら」を上映して好評を博しているが、東京NETも、近く愛染かつらを放送する（亡却とは忘れ去ることなり）

◆総選挙終つて：これから感謝祭に、クリスマス、年末と、一九七六年の総決算の秋から師走に突進する（光陰の矢もスピード化する時代）

◆吉永観光団長も元気で帰広「五十名の団員もみな元気でした」と来社談（観光団のベテラン）

◆日本でもロンドンでも米大統領選挙観は、カーク候補が勝つとみていた（カケ業者の間で）

◆飛行機賃とレントカー料理金の組合せは違法と民間航空局が裁断た（乗りものは同じものでも…）

◆ロッキード事件で現れたのが米国々籍の「鬼」：で、ニセ電話事件が京都地裁判事の鬼頭（キトウ）史郎地裁判事補（鬼は外、福は内を想う）

◆コナ・ワエナ・ハイの学生だつた有吉幸治氏（六十二才）は米国屈指の中国通となつていたが、二十三日ホノルルで死去した（ひところは赤の七人衆と騒がれたが）

遠山の金さん張り 江戸末期の南町奉行、遠山景元（通称、金四郎）は、世情に通じ、名奉行とうたわれた。俗説では桜吹雪の刺青が有つたとされる。死後、講談や歌舞伎の題材となった。昭和八（一九三三）年の松竹映画、林長二郎（長谷川一夫）主演「刺青判官」は一世を風靡した。陣出達郎は『喧嘩奉行』を初めとする十数冊の「遠山の金さん」シリーズを書いている。お白洲の場面の最後で、奉行が裁断を下したあとの決め台詞「これにて一件落着」は有名。

カゼ薬り 「カゼ」は普通「風邪」と表記される和語であるが、漢字表記

より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

鼻クソあんぼん丹 俗に「越中富山の反魂丹（はんごんたん）、鼻糞丸めて万金丹（まんきんたん）、それを吞（の）む奴（やつ）あんぼんたん」と唱える。「鼻クソあんぼん丹」は、この短縮形であろう。ここでは、効果の無い贗薬の意で使用されている。

サトー業 「サトー」は普通「砂糖」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。すぐ下に「糖業」とあり、難字を避けたわけではないことが知られる。

キビ 「キビ」は普通「黍」と表記される和語である。ここでは、砂糖黍（さとうきび）のこと。漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

「愛染かつら」 昭和十三（一九三八）年（前年より連載、完結）の川口松太郎の小説『愛染かつら』は、同年、田中絹代・上原謙主演で映画化され、一世を風靡した。その後もたびたび映画化され、人気を博した。昭和二十三（一九四八）年は水戸光子・龍崎一郎主演、昭和二十九（一九五四）年は京マチ子・鶴田浩二主演、昭和三十七（一九六二）年は岡田茉莉子・吉田輝雄主演。

帰広 広島に帰ること。

観光団 『日本国語大辞典』（一九七二）によると「他郷の地理、人情、風俗などを視察する目的で組織された団体」。

レントカー 英語からの借用語（rent-a-car ある（）は rental car）。

料理金 「理」は衍字で、「料金」の誤植であろう。

ロッキード事件 昭和五十一（一九七六）年二月に発覚した事件。アメリカの航空機製造会社ロッキード社が、全日空の航空機選定をめぐる、丸紅商事等を介して日本の政府高官に贈賄をした。元内閣総理大臣田中角栄が、同年七月二十七日、受託取賄罪・外為法違反容疑で逮捕された。

コナ・ワエナ・ハイ ハワイ島コナにある“Konawaena High School”（コナワエナ高校）を指す。

一九七六年十一月十二日（金）

◆日本の自民党は事実上、分裂選挙に突入するが：分裂よりも宮本武蔵の二刀流で行け（一刀で社会党を斬り、一刀で共産党を斬れ）

◆ハワイ島の選挙余聞は、民主党の落選市会議員間で、ケンカをおつ初めている（見苦しい眺め哉）

◆ハワイの殿様政党 共和党が惨敗したが：斜陽政党の再建は少々の苦勞ではあるまい（金と力を持つフオング国会上議の腕ためし…）

◆十一月二日の本選挙の塵を落とすが如く、七日、八日のヒロは冷たい豪雨が降りしきつ た（ドライブも、おつくう）

◆昨十一日は、除隊兵日、ワイアケア・ヴィレツジ・ホテルで、本島除隊兵クラブ主催のバンクエツトが盛大に行われた（四四二連隊や一〇〇大隊も参加して…）

◆勝つたカーター大統領は大統領専用機の予備機でジョージア州沿岸のセント・サイモンズ島で、休暇を過した（月末には、ワシントンでフオード大統領を訪問する）

◆ハワイ郡市会の議長、財政委員長などの構成に、横つちよから、又々ユニオンが口を入れて、混線しているらしい（民主党市会議員七名のうち、ユニオン系は僅か三名だが…）

ケンカ 「ケンカ」は普通「喧嘩」と表記される漢語であるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

ドライブ 英語からの借用語 (drive 【運転】)。

おつくう 「おつくう」は、極めて長い時間を表す「億劫(おつこう)」が変化した語。意味も転じて、面倒で、気が進まないさま、の意を表すようになった。普通「おつくう」と平仮名表記される。

ワイアケア・ヴィレツジ・ホテル ハワイ島ヒロの“Sheraton Waikaea Village Hotel”（当時）を指す。二〇一二年現在はず、Waikaea Villas。

バンクエツト 英語からの借用語 (banquet)。日本では「バンケット」と記するのが普通。

四四二連隊 第二次世界大戦中に日系アメリカ人のみで編成された部隊。

もっとも多くの勲章を受けた部隊としても有名。

一〇〇大隊 ハワイの日系兵からなる一〇〇歩兵大隊のこと。

ユニオン 英語からの借用語 (union)。労働組合。

一九七六年十一月二十六日(金)

◆傍若無人のソ連漁船が日本沿岸で百二十隻も操業しているが、社会党も共産党も何等の抗議もしていない(アメリカ漁船団なら鐘や太鼓でデモをするであろう…)

◆第七回日本歌謡大賞は、都はるみ…の北の宿からと決定した(昨年は布施明のシクラメンの花)

◆ワイロア州公園河畔に建立された津波犠牲者記念碑の除幕式は二十一日サンデー午後一時から行われた(慰霊祭も兼ねて)

◆九州場所で高見山善闘、落着いた取り口で勝ち星をあげている(頑張れジエシー)

クリスマスは来月、ヒロの商店街も、クリスマス贈答品をディスプレイしている(サンタも寒い風に乗って飛来する)

◆毎晩、キク・テレビを楽しんでいるが…テレビ雑誌「コギク」が字引役をしてくれるので、明治頭にも筋書がわかり易い(ヒロでもコギクの売れ行き良好)

◆十一月も終りに近づき、北風が吹き初め、海の波も高く、ヒロ湾のプレーキ・ワターを、ザンブくと越えている(カゼ引きもグンと多くなる)

◆ヒロ・タイムスも新年号にとりかかったが、今年はコジンマリした編集にしたい(編集室)

◆毎年ながら読者、社友よりの新年広告をお願いします(営業部)

シクラメンの花 第六回(一九七五年度) 日本歌謡大賞受賞曲は、布施明の「シクラメンのかほり」である。「花」は「かほり」の誤り。

ワイロア州公園 ハワイ島ヒロにある“Waioa River State Park”を指す。ハワイ州立公園。

津波犠牲者記念碑 一九六〇年の津波被害者を記念する碑がワイロア公園内にある。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

高見山 マウイ島出身の元大相撲力士。初の外国人力士でもある。一九六四年初土俵、一九八四年に引退。ニックネームはジエシー。

善闘 「善闘」は、巧く戦う意の漢語である。「善戦善闘」の形で使用されることが多い。

ジエシー 高見山の愛称。

デスプレー 英語からの借用語 (display 【展示】)。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

ヒロ湾 “Hilo Bay”を指す。

ブレイキ・ウォーター 英語からの借用語 (breakwater 【防波堤】)。

コジンマリ 「こ」は接頭辞。「ちんまり」は、小さいさまを表す副詞。「こ

ぢんまり」は、小さくまとまっているさまを表す。普通「小ぢんまり」

と表記される。片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意

味が強調される。

一九七六年十二月十日（金）

◆負けたく、ウント負けた…は自民党議席…過半数がとれず、まことに醜態である（三木株もダウン）

◆公明、民社が予想以上で社会党はヨコバエ、共産党がドンジリの十七席に減じた（赤の脅威がわかり出した日本の有権者）

◆市長、市会議員の就任式が六日、市公会館で盛大に挙行したが有吉知事、土井副知事、メノー最高裁判事も列席（出席者は千五百人）

ヨコバエ 正しくは「ヨコバイ」。漢字で「横這い」と表記される和語で

あるが、漢字表記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調される。

挙行した「挙行された」と、受身の形にするのが普通。

一九七六年十二月十七日（金）

◆アロハ航空の社宝 二木武夫氏（社長特別補佐）は、相変らず元気で、日本部員の陣頭指揮をとっている（六尺二寸の長身日本人）

◆岡崎副領事と東京外国語大学附属日本語学校教授の伊藤芳照氏が十四日飛来したが、ハワイ島教育会幹部の出迎えをうけた（夜はレストラント富士で歓迎晩さん会）

◆故長嶺将範氏の叙勲祝賀奉告祭は、十九日サンデー午後三時よりヒロ法眼寺で執行する（主催はハワイ島日系人協会）

六尺二寸 約一八八センチ。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

レストラン 英語からの借用語（restaurant）。

叙勲祝賀奉告祭 勲等を授けられ、勲章を与えられたことを、故人に知らせ、鎮魂・祈願すること。

サンデー ハワイの日本語では、曜日を英語で表すことが多い。

一九七六年十二月二十四日(金)

◆山は雪…雨と風…クリスマス・ツリーにサンタ老…浪は防波堤をかんで
師走の月も暮れなんとす(師走のヒロ風景)

◆糖業界の不況で、恒例の忘年会も、とりやめにした会社が多いらしい(カ
ーター新大統領に大きく期待するハワイ)

◆ヒロ・タイムス新年号は一年に一回、めぐり来る収入源であり、広告で
埋めるといふよりも…「紙上名刺交換」と、良い方に解釈していただ
きたい(週刊誌ホカノ新聞を出せぬ春)

◆宮下ヒロ子さん(七十才位)を東京の旧友、田中トモさんが消息を
知りたがっています…本人を、ご存じの方は、本社電話(九三五―
六七七八)にお知らせ下さい(世話係り)

◆棋院ヒロ道場では、クリスマス…一年末もなんのその…引退組が、あの
手この手と、パチリく〜と盤上を楽しんでいる(喰うてはお茶飲め…
と言う人が勝ち暮)

◆日系人協会の新年宴会は来年二月 余興主任の牛島栄さんが、どんなブ
ログラムを出しましょうかと、頭をヒネツテいる(塚本総領事夫妻に
も招待状を発送)

◆年末、正月にかけて、日本からの観光団が続々とハワイ島に飛来すので、
ジャツキ観光会社も、うけ入れ準備を完了している(ガイド女性軍も
ハワイ島のためにと張りきつて…)

◆美しいカレンダーをもらうと…新しき年が来る…来年こそは、心身とも
に新しく…と、昔のハリキリ・ボーイ時代が恋しくなる(一里塚なん
かも、なんのその…だ)

新年宴会 「新年宴会」は現在は「新年会」と言うのが一般的であるが、
昭和7年の『大言海』では「新年宴会」が見出し語となっており、も
ともとは「新年宴会」だったことがわかる。

ヒネツテ 「ヒネる」は普通「捻る」と表記される和語であるが、漢字表
記より片仮名表記の方が、視覚的にも、より目立ち、語の意味が強調
される。

観光団 『日本国語大辞典』(一九七二)によると「他郷の地理、人情、風

俗などを視察する目的で組織された団体」。現在も二世からはよく聞かれる語である。

飛来 飛行機に乗ってハワイ島にやってくること。

飛来す 「飛来する」の誤りと思われる。

ジャツキ観光会社 ヒロの観光バス会社「Jack's Tours」のこと。

ハリキリ・ボーイ 「ハリキリ」は、元気があふれ、意気込んでいる意の「張り切る」の連用名詞形。英語「boy」の片仮名表記「ボーイ」と連用・複合させるため、片仮名表記したものである。

一里塚 一休禅師作と伝えられる歌「門松は冥土の旅の一里塚目出度（めでたく）もあり目出度もなし」を典拠とする。新年を迎えると、数え年では一歳年をとって、一步冥土に近づくとということ。

参考文献

- Sakoda, Kent and Siegel , Jeff. *Pidgin Grammar: An Introduction to the Creole Language of Hawaii*. Honolulu: Bess, 2003.
- Sasaki, Pat et al., *Pupus to da Max*. Honolulu: Bess, 1986.